

令和7年度 一般会計決算附属資料

教育委員会事務局 主要な施策の成果

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																					
	項	01 農業費	7,141千円		7,445千円	304千円	95.9 %																							
	目	02 農業総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																					
	事業	03 アグリセンター管理運営事業					7,191千円																							
まちづくり 27の施策		19 持続可能な農林業の推進	主な財源	使用料	アグリセンター使用料				1,254千円																					
				諸収入	アグリセンター光熱水費等負担金				108千円																					
目的		農業・農村の活性化を目的に設置したアグリセンター大宮を、地域づくり、農業経営体及び地域リーダーの育成、さらには地域住民の福祉や健康の増進を目的とした各種イベントや講演会などに有効活用できるよう適切に維持管理する。																												
主要な事務・事業の概要	○需用費		3,809千円		〈利用状況〉																									
	・消耗品費（トイレットペーパー、ハロゲンランプほか）		54千円		<table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>利用人数</th></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>473 回</td><td>10,515 人</td></tr><tr><td>視聴覚教育室</td><td>629 回</td><td>12,821 人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室（和室）</td><td>443 回</td><td>6,184 人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>275 回</td><td>15,697 人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>84 回</td><td>881 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,904回</td><td>46,098 人</td></tr></table> ※前年度利用状況 1,811回、51,326人					区 分	利用回数	利用人数	農業技術研修室	473 回	10,515 人	視聴覚教育室	629 回	12,821 人	地域活性化研修室（和室）	443 回	6,184 人	多目的ホール（エントランス含む）	275 回	15,697 人	調理加工実習室	84 回	881 人	合 計	1,904回	46,098 人
	区 分	利用回数	利用人数																											
	農業技術研修室	473 回	10,515 人																											
	視聴覚教育室	629 回	12,821 人																											
	地域活性化研修室（和室）	443 回	6,184 人																											
	多目的ホール（エントランス含む）	275 回	15,697 人																											
	調理加工実習室	84 回	881 人																											
	合 計	1,904回	46,098 人																											
	・燃料費（ガス、灯油）		1,105千円																											
	・光熱水費（電気、上下水道代）		1,940千円																											
	・修繕料（施設設備）		710千円																											
	○役務費（FAX使用料）		34千円																											
	○委託料		3,292千円																											
	・アグリセンター管理委託料		2,196千円																											
・移動観覧席点検委託料		368千円																												
・害虫駆除委託料		46千円																												
・空調設備保守点検委託料		106千円																												
・施設清掃委託料		123千円																												
・自動ドア保守点検委託料		99千円																												
・消防設備等保守点検委託料		46千円																												
・設備保守管理委託料		154千円																												
・特定建築物・設備定期報告業務委託料		154千円																												
○使用料及び賃借料（テレビ受信料）		6千円		成果・課題	○農林業の振興にかかる研修会・講習会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。 ○平成9年建築の施設で築後28年が経過しており、館内の空調設備や調理加工実習室の機材の老朽化が進んでおり、計画的な設備更新や改修及び適正な維持管理を行う必要がある。																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	01 教育総務費	3,936千円		3,947千円	11千円	99.7 %					
	目	01 教育委員会費					(参考)当初予算額	課	教育総務課			
	事業	50 教育委員会一般経費					4,024千円					
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源										
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている教育委員会の委員活動や研修等を実施する。											
主要な 事務・事業の概要	○教育委員報酬（4人）		3,564千円									
	・報酬		3,528千円									
	教育委員 月額72千円×12月×4人 （年度途中の委員交代に伴う重複支給分72千円を含む）											
	・費用弁償		31千円									
	教育委員会（定例会、臨時会、協議会）、総合教育会議											
	・消耗品費		5千円									
	教育委員会必携（五訂版）、教育委員バッジ											
	○教育委員視察研修等経費		100千円									
	管外視察、京都市町村教育委員会定期総会、研修会ほか											
	・費用弁償		56千円									
	・燃料費、駐車場使用料、有料道路使用料		44千円									
	○丹後地方教育員会連合会負担金		272千円		成果・課題	○管内視察をはじめ先進地視察を実施し実情の把握に努め、積極的な活動を行うことにより幅広い識見を得ることができた。 ○教育課題や重要施策等に適切に対応するため、委員協議会を開催し、調査・研修及び意見交換を行うことができた。 ○課題解決に向け、地域の意向や教育現場等の状況を把握し、教育施策や教育委員会の意思決定に反映させるため、今後も研修機会及び管内視察等の充実を図る必要がある。						

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	01 教育総務費	17,253千円		17,260千円	7千円	99.9 %																	
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課															
	事業	03 指導主事設置事業					17,230千円																	
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源																					
目的		学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																						
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性で見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。 【地域担当指導主事 4人】 ○会計年度任用職員任用経費 ○市内業務移動に係る旅費（費用弁償） ○消耗品費（ファイル等事務用品）		17,049千円		【指導主事配置状況】 <table><tr><th>配置先</th><th>配置人数</th><th>所管町域</th></tr><tr><td>峰山地域公民館</td><td>1人</td><td>峰山町</td></tr><tr><td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td><td>1人</td><td>大宮町、久美浜町</td></tr><tr><td>網野地域公民館</td><td>1人</td><td>網野町</td></tr><tr><td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td><td>1人</td><td>丹後町、弥栄町</td></tr></table>					配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町
			配置先	配置人数						所管町域														
			峰山地域公民館	1人						峰山町														
			大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人						大宮町、久美浜町														
	網野地域公民館	1人	網野町																					
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町																						
		199千円																						
		5千円																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	18,646千円		18,647千円	1千円	99.9 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 学校医委嘱事業					18,667千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	学校保健安全法に基づき、学校における保健管理に関する学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を全ての小学校及び中学校に置き、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○学校医（計11人）		8,042千円						
	【学校数：22校、児童生徒数：3,351人（R7.5.1時点）】								
	・報酬		8,035千円						
	・費用弁償		7千円						
	○学校歯科医（計11人）		8,040千円						
	【学校数：22校、児童生徒数：3,351人（R7.5.1時点）】								
	・報酬		8,035千円						
	・費用弁償		5千円						
	○学校薬剤師（計8人）		2,564千円						
	・報酬		2,525千円						
1校目（8校）		154,000円		成果・課題	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒の健康の保持増進及び教育現場の環境衛生の維持向上を図ることができた。				
2校目（14校）		92,400円（154,000円×60%）							
・費用弁償		39千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,707千円	4,786千円	79千円	98.3 %		
	目	02 事務局費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 学務経費				6,683千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源					
目的	学校保健安全法に基づく就学时健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。							
主要な事務・事業の概要	○就学时健康診断（受診人数：327人） （医師謝金、費用弁償）		631千円	○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金 （小学生2,235人、中学生1,136人） 3,114千円				
	○学務経費 ・健康管理票作成等（消耗品費、印刷製本費） ・学齢簿関連システム保守委託料 ・人権教育研究会活動に係る資料代（消耗品費） ・各中学校区での特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） ・峰山学園 （開催日：10月23日（木）、参加者数：49人） ・大宮学園 （開催日：11月10日（月）、参加者数：17人） ・網野学園 （開催日：10月21日（火）、参加者数：47人） ・丹後学園 （開催日：11月13日（木）、参加者数：14人） ・弥栄学園 （開催日：12月 3日（水）、参加者数： 9人） ・久美浜学園（開催日：10月23日（木）、参加者数：30人）		434千円 43千円 317千円 44千円 30千円	○その他負担金 京都府学校保健会、京都府学校保健主事会、 教育研究協議会、近畿特別支援教育連絡協議会の各負担金 155千円 ○京丹后市立学校事故詳細調査委員会経費 （専門家現地調査謝金、学校事故詳細調査委員謝金） ・設置：令和8年1月 委員会：3回 現地調査：2回 373千円				
				成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。 ○学校事故詳細調査委員会を設置し、事故の調査を行った。			

目的	学校保健安全法に基づく就学時健康診断を行うとともに、学齢簿の管理、学校管理下での安全衛生や事故災害に対応する。 また、小中学校の枠を超えた取組として、特別支援学級ふれあい交流会を実施する。	主な財源	
----	--	------	--

主要な事務・事業の概要	○就学時健康診断（受診人数：327人） （医師謝金、費用弁償）	631千円	○（独）日本スポーツ振興センター共済掛金 （小学生2,235人、中学生1,136人）	3,114千円
	○学務経費	434千円	○その他負担金	155千円
	・健康管理票作成等（消耗品費、印刷製本費）	43千円	京都府学校保健会、京都府学校保健主事会、 教育研究協議会、近畿特別支援教育連絡協議会の各負担金	
	・学齢簿関連システム保守委託料	317千円		
	・人権教育研究会活動に係る資料代（消耗品費）	44千円		
	・各中学校区での特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費）	30千円	○京丹後市立学校事故詳細調査委員会経費	373千円
	・峰山学園（開催日：10月23日（木）、参加者数：49人）		（専門家現地調査謝金、学校事故詳細調査委員謝金）	
	・大宮学園（開催日：11月10日（月）、参加者数：17人）		・設置：令和8年1月 委員会：3回 現地調査：2回	
	・網野学園（開催日：10月21日（火）、参加者数：47人）			
	・丹後学園（開催日：11月13日（木）、参加者数：14人）			
	・弥栄学園（開催日：12月 3日（水）、参加者数： 9人）			
	・久美浜学園（開催日：10月23日（木）、参加者数：30人）			
			成果・課題	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健全で安全な教育環境の推進につながった。 ○特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりができた。 ○学校事故詳細調査委員会を設置し、事故の調査を行った。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	3,823千円		4,224千円	401千円	90.5 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	06 学校安全対策事業					4,988千円		
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 諸収入	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3） 市有自動車損害共済金			713千円 20千円	
目的	児童生徒が被害者となる事件等を未然に防ぎ、子どもたちの安全を確保するため、子ども安心パトロール車を配置、運行する。 また、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備するためスクールガード・リーダーを配置し、登下校時の巡回指導や安全確保、被害防止対策を講じるとともに、通学路の安全を確保するため、除雪機を配置する。								
主要な事務・事業の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理		2,384千円		【にこにこカー配車一覧】				
	各小学校に16台、児童生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し安全確保や犯罪被害防止に努めた。								
	・燃料費（ガソリン代）		772千円						
	・修繕料（車検ほか）		1,286千円						
	・手数料・保険料・公課費		326千円						
	○学校の除雪活動		368千円						
	積雪時の通学の安全性を高めるため、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。								
	・保険料（ボランティア活動保険・登録者数11人）		3千円						
	・修繕料（除雪機9台）		365千円						
	○スクールガード・リーダー巡回・指導		1,071千円						
警察官OBの3人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。 【年間巡回活動等の実績：3人で198回】									
・報償金（活動謝金）		1,054千円							
・保険料（総合補償保険料）		17千円							
成果・課題					○各小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動が展開されるなど、学校を支える地域の安全体制づくりを推進することで、児童・生徒の安全につながっている。 ○関係機関と協力し、クマやサルなどの野生動物の出没情報をいち早く学校と共有し、児童・生徒への被害を未然に防ぐ必要がある。 ○通学路の安全性をより高めるため、道路管理者等関係機関と連携し除雪体制を充実する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	166千円		179千円	13千円	92.7 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額		
	事業	07 就学支援・教育相談事業					179千円	課	学校教育課
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実								
目的	児童生徒の問題行動、心身の悩みや不登校等に対応するため、臨床心理士による教育相談を実施するとともに、児童生徒を指導、支援する教職員に対し、各種研修を行う。 また、児童生徒の特性に応じた教育支援を適切に行うため、発達検査を実施し、児童生徒の特性の理解や支援の手がかりとする。							主な財源	
主要な事務・事業の概要	各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適応の未然防止や解消に向けての対応の在り方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。				○教育支援に係る発達検査の実施 ・ 消耗品費 166千円 知能検査記録用紙（WISC-IV、WAVES）ほか				
	○教育相談事業 ・ 相談場所 大宮庁舎及び各小中学校 ・ 教育相談の実施者 臨床心理士（学校教育課所属） ・ 実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校） 合計160回実施 ・ 相談件数 延べ169件								
	○研修事業 ・ 教育相談担当者研修 教職員22人 年3回 ・ 事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）				成果・課題	○臨床心理士による発達検査、教育相談、教職員研修の実施等により、児童生徒や保護者の心の安定・学校適応を支援した。 ○取組の成果により、中学校では不登校出現率がやや減少するとともに、すべての児童生徒について、早い段階でカウンセラーやソーシャルワーカー等の専門的な支援とつながりを持たせる取組を進める。 ○児童生徒のコミュニケーションスキルを高めるための教育プログラムの実施や相談窓口の周知徹底などの対応を確実に進めていく。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局												
	項	01 教育総務費	14,340千円		14,393千円	53千円	99.6 %														
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課												
	事業	08 教育支援センター管理運営事業					14,997千円														
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補 繰入金	教育支援体制整備事業費補助金（1/3） ふるさと応援基金繰入金			268千円 8,000千円													
目的	心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。																				
主要な事務・事業の概要	不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置				＜教育支援センター運営体制・実績＞																
	○会計年度任用職員任用経費（5人分） 13,853千円 ○消耗品費（事務用品、コピー代、医薬材料費） 107千円 ○管理経費（燃料費、修繕費） 102千円 ○役務費（電話代、切手代、Wi-Fi通信費） 95千円 ○使用料及び賃借料（コピー機借上料） 163千円 ○備品購入費（図書） 20千円				・配置人数 5人 教育支援センター支援員（会計年度任用職員） ・配置体制 1日当たり3人 （各支援員 週3日 1日7時間） ・通所児童生徒数 15人 （小学生8人、中学生7人） ・相談延べ件数 811件 ・来所延べ人数 1,224人 ・延べ訪問回数 32回																
成果・課題					<table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>通所利用登録者</td><td>15人</td><td>13人</td><td>17人</td><td>17人</td><td>15人</td></tr></table>					年度	R3	R4	R5	R6	R7	通所利用登録者	15人	13人	17人	17人	15人
	年度	R3	R4	R5	R6	R7															
通所利用登録者	15人	13人	17人	17人	15人																
				教育支援センター（峰山町杉谷）の開設は、平成25年1月31日																	
				○教員経験の豊富な支援員による児童生徒等への学習及び生活の支援やスクールカウンセラーやソーシャルワーカーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、基本的生活習慣の改善をはじめ、教室や学校復帰、進路実現等の社会的自立を促進することができた。 ○市内の小学校の不登校数が増加していることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																		
	項	01 教育総務費	5,806千円		5,908千円	102千円	98.2 %																				
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																		
	事業	09 地域学校協働本部事業					6,389千円																				
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			1,041千円																			
				府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）			904千円																			
目的	「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力をはぐくむ教育」の推進に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域等が協力して子どもを育む環境の充実を図るため、学校と地域等をつなぐコーディネーターを配置する。																										
主要な事務・事業の概要	地域全体で学校教育を支援するため、様々な特技や技能を持った地域の人材を「学校支援ボランティア」として市立学校園に派遣し、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などを実施した。また、より学校・地域がよりスムーズに連携するため、人材バンクの構築を行った。 ○地域コーディネーター配置（4人） 2,796千円 ・地域コーディネーター謝金及び費用弁償 ○探究コーディネーター配置（1人） 2,847千円 ・会計年度任用職員任用経費 ○広報紙の発行（年1回：ボランティア募集、活動報告） 115千円 ・印刷製本費 ○消耗品費 48千円 <活動概要> ・活動内容 学校のニーズに応じた学校支援ボランティアの派遣 ・実施場所 市内全小学校（16校）、中学校（6校）、市立認定こども園（6園） ・ボランティア登録者数 705人（令和7年度新規登録者数27人） ※ボランティアの登録状況（令和8年3月末現在） <table><tr><td>町域</td><td>峰山</td><td>大宮</td><td>網野</td><td>丹後</td><td>弥栄</td><td>久美浜</td><td>市外</td><td>合計</td></tr><tr><td>人数</td><td>161人</td><td>103人</td><td>183人</td><td>85人</td><td>80人</td><td>76人</td><td>17人</td><td>705人</td></tr></table>				町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計	人数	161人	103人	183人	85人	80人	76人	17人	705人	【ボランティア活動の内容等】				
					町域	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市外	合計														
					人数	161人	103人	183人	85人	80人	76人	17人	705人														
					・学習支援（教科指導補助、「総合的な学習」講師補助、部活動指導支援等）																						
					・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等）																						
					区域	活動日数	活動人数（延べ）																				
					峰山学園	487日	2,502人																				
					大宮学園	197日	271人																				
					網野学園	878日	3,945人																				
					丹後学園	172日	313人																				
弥栄学園	208日	261人																									
久美浜学園	532日	3,217人																									
合計	2,474日	10,509人																									
成果・課題	○教科指導補助や部活動支援、環境整備など、全ての市立学校園にボランティア派遣を実施することで、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育む教育環境の充実を図った。																										
	○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かすことで、地域による学校教育支援はもとより、多世代交流に繋がり、市民の生きがいづくりになっている。																										
○学校活動の多様なニーズを把握するとともに、それに対応するボランティアを確保し、ニーズを充足する活動を行うことが必要である。																											

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	5,059千円		5,157千円	98千円	98.0 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	11 学校跡施設管理事業					3,057千円		
まちづくり 27の施策	27 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入 旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金 310千円					
目的	学校再配置により閉校となった学校跡施設の適切な維持管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○学校跡施設等修繕料（5施設） 危険遊具の撤去、消防設備、消火水槽の修繕等、施設の適正管理を図った。 修繕施設： 旧丹波小学校、旧大宮第三小学校、旧豊栄小学校 旧海部小学校、旧川上小学校		3,045千円						
	○手数料 貯水槽法定検査、浄化槽法定検査、水道開閉栓、廃家電処理、漏水調査、 ごみ持込処理		239千円						
	○光熱水費 旧橘小学校、旧宇川中学校		816千円						
	○委託料 貯水槽等保守点検、除草作業、浄化槽維持管理、消防設備等保守、 電気設備保守		959千円		成果・課題	施設等の状況を考慮しながら、利活用が進むよう今後も検討を進めていく必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	2,525千円		2,525千円	0千円	100.0 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	12 学校教育施設整備基金					2,479千円			
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	財産収入 土地建物貸付収入 2,510千円 財産収入 学校教育施設整備基金利子収入 15千円						
目的	学校跡施設の建物貸付料をもとに、学校教育施設の整備等を進めることを目的とした学校教育施設整備基金に積み立てるもの。									
主要な事務・事業の概要	○学校教育施設整備基金積立金 2,525千円 建物賃貸借料を基に国が算出した国庫納付金相当額以上を積み立てる									
	・旧大宮第三小学校貸付分 305千円									
	・旧三津小学校貸付分 1,326千円									
	・旧豊栄小学校貸付分 879千円									
	・基金利子分 15千円									
	(単位：千円)									
	令和6年度末現在高				令和7年度中増減額		令和7年度末現在高			
	繰入金				利子収入		積立金			
	①				②		③		④	①-②+③+④
	12,913				0		15		2,510	15,438
成果・課題										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	4,269千円		4,855千円	586千円	87.9 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	13 保幼小中一貫教育推進事業					4,655千円			
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			1,557千円		
				府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			186千円		
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。 また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。									
主要な事務・事業の概要	○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）		109千円		○教育フォーラム（講師謝金、消耗品費）					70千円
	・委員 16人（学識経験者、学校運営協議会、教職員、保護者等）				・開催日 令和8年1月17日（土）・場所 アグリセンター大宮 参加者270人					
	・開催回数 2回（12月・3月）				・対象 教育委員、保幼小中一貫教育研究推進協議会委員、学園運営協議会、丹後教育局、他市町教育関係者、一般参加者 他					
	・調査研究内容 保幼小中一貫教育実施校における取組及び研究の報告				・講師 細田 真由美 氏（前さいたま市教育長）					
	○丹後学モデルカリキュラム改訂（委員謝金、費用弁償）		9千円		・内容 「Give it a try」本市の目指すグローバル人材育成への挑戦					
	・委員 12人（教職員、地元有識者等）				○特色ある学校づくり、保幼小中連携の取組（各中学校区単位）					3,914千円
	・開催回数 1回（6月）				・合同講演会、合同授業、部活動体験、体験入学、合唱祭等の保幼小中連携					
	・内容 モデルカリキュラム冊子（改訂版）の活用状況の確認				・合同校外学習、交流学习などの小小連携					
	○学力向上対策会議研修会（講師謝金、消耗品費）		67千円		・学園リーフレットの作成、学園あいさつ運動、学園全体研修会の開催					
	・開催日 令和7年11月11日（火）・場所 橘小学校 参加者32人				○事務経費					30千円
・対象 市内小中学校教員、教育関係者				小中一貫教育全国連絡協議会負担金						
・講師 樋口 万太郎 氏（中部大学現代教育学部現代教育学科 准教授）				成果・課題	○保幼小中一貫教育研究推進協議会、モデルカリキュラム改訂などにより研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。					
・内容 児童生徒の学力向上を目指し、実際の授業を通して指導方法を学ぶ					○研修会の開催により、児童生徒の学力向上や学校園所づくりの方法等について学ぶ機会を提供することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の教育の在り方について市民への周知を行うことができた。					
○保幼小中一貫教育研修会（講師謝金）		70千円			○特色ある学校づくりや保幼小中連携の取組の実施により、「丹後学」の充実や学園内の学校園所が一体となった教育活動を行うことができた。					
・開催日 令和7年7月9日（水）～7月11日（金）他4日 ・参加者83人										
・対象 市内学校園所教員、教育関係者										
・講師 大野 大輔 氏（櫛先生の幸せ研究所 学校園専門コンサルタント）										
・内容 「子ども主体」の教育へ向かって、教職員の意識改革を図る										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	25,946千円		26,311千円	365千円	98.6 %				
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	14 いじめ・不登校防止対策等総合推進事業					29,940千円				
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			613千円			
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策等専門委員会及びいじめ問題対策連絡会議を開催する。 また、いじめや不登校の防止等の取組において、心の教室相談員の配置および、1人1台端末を利用をした匿名相談窓口等を設置し、児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進する。			繰入金	過疎地域振興基金繰入金			6,500千円			
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			5,965千円			
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人）		178千円		○校内フリースクールの設置に係る経費					19,168千円	
	いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催				・心の教室相談員任用経費（報酬、職員手当等）（6人）					18,804千円	
	開催日：第1回 令和7年11月29日（土） 第2回 令和8年 3月17日（火）				・備品購入費（衝立式パネル、ホワイトボード他）					364千円	
	・報酬		140千円		○1人1台端末匿名相談窓口の設置					6,578千円	
	・費用弁償		38千円		・ソフトウェア使用料					1,028千円	
	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人）		14千円		・相談業務委託料等					5,550千円	
	いじめの防止対策や早期発見、いじめへの対応等に関する連携・協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携会議を開催				相談件数：1,002件（いじめに関する相談：138件）						
	開催日：令和7年5月29日（木）				○いじめ防止街頭啓発（消耗品費）						
	・報償費（委員謝金） 支払対象3人		12千円		成果・課題	○いじめや不登校は、どの子ども、どの学校でも起こり得ることを踏まえ、未然防止及び早期発見に向けた取組を推進する必要がある。					
	・費用弁償		2千円			○校内フリースクールを設置し、人的配置・環境整備を進めることで、中学校の不登校出現率の抑制につなげることができた。					
						○1人1台端末を用いた相談窓口を設置することで、いじめをはじめ、幅広い内容についての相談を数多く対応することができた。					
						○相談窓口の周知を積極的に行うなど、引き続き、相談しやすい環境づくりに努める必要がある。					

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	01 教育総務費	54,008千円		70,037千円	16,029千円	77.1 %		課	学校教育課	
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額				
	事業	15 学校情報化推進事業					110,794千円				
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			165千円			
				財産収入	物品売払収入			19,932千円			
目的	GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。										
主要な事務・事業の概要	○需用費		1,356千円		■令和8年度への繰越事業						15,653千円
	・パソコン・校内LAN関連消耗品、修繕費		1,356千円		・通信機器等設定業務委託料（令和8年11月完了予定）						
	○通信運搬費		1,089千円		＜参考＞パソコン等台数（令和8年3月末時点）						（単位：台）
	・Wi-Fiルータ通信費、光回線通信費		1,089千円								
	○手数料（電子黒板等移設手数料）		292千円								
	○委託料		13,192千円								
	・サーバー・パソコン・校内LAN等保守委託料		1,320千円								
	・校務支援システム保守委託料		726千円								
	・ICT支援員業務委託料（3人）		10,310千円								
	・通信機器等設定業務委託料		836千円								
	○使用料及び賃借料		34,368千円								
	・パソコン借上料（サーバー・学習用端末）		16,196千円								
・ソフトウェア使用料（授業支援システム等）		18,104千円									
・クラウドサービス利用料（Googleアカウントドメイン等）		68千円									
○備品購入費（電子黒板接続機器、無線AP機器）		3,711千円									
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		54,384千円		成果・課題						○令和2年度に導入した児童生徒・教職員1人1台端末をリースにより更新することができた。 ○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、学習用）、電子黒板及びサーバー機器、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を適切に行うことができた。 ○引き続きICT支援員を適切に配置し、授業改善に向けて児童生徒と教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用していく必要がある。
	実質的な執行率		99.3%								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	36,208千円		36,217千円	9千円	99.9 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	16 グローバル人材育成事業					38,332千円			
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			9,490千円		
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			26,598千円		
				諸収入	国際交流事業等参加料			120千円		
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。									
主要な事務・事業の概要	OKyotango English Day【対象：小3・4年】		17千円		○中学生の海外派遣【対象：中2年】					10,874千円
	CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和7年10月4日（土） 参加者数：17人 （施設使用料）				学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。 派遣先：オーストラリア パース 参加者数：20人（選考） 派遣期間：令和8年3月14日（土）～22日（日） 8泊9日間 （旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）					
	OKyotango English Camp【対象：小5・6年】		361千円		OKyotango Sea Labo【対象：中3年・高2年】					4,031千円
	CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム 実施日：令和7年10月4日（土）・5日（日） 参加者数：20人 （通信運搬費、施設使用料）				グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、丹後学・デザイン思考・STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を英語で開催した。 実施日：令和7年8月4日（月）～8日（金）・9月8日（月） 参加者数：27人（中学3年生：18人、高校生：9人） （委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）					
	○オンライン留学【対象：中1年、高校生】		9千円							
	フィリピンとのオンライン交流を実施 ※全体研修8回、各家庭でのオンライン交流複数回 事業期間：令和7年10月7日（火）～12月9日（火） 参加者数：中学生20人、高校生10人 （国際交流事業謝礼品、通信運搬費）									
	○英語力向上支援ソフト導入【対象：中1～3年、小5・6年】		20,916千円							
	一人一台配付しているタブレットにソフトを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。 （ライセンス使用料ほか）				成果・課題	○国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。 ○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、生徒の学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。 ○京丹後市版のプログラム（R6完成）を実施し、丹後学・デザイン思考・STEAM教育を通して、創造性を育むとともに、丹後に愛着を持ち、丹後の産業や文化を誇りに思う気持ちの醸成につながった。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																	
	項	01 教育総務費	4,277千円		4,683千円	406千円	91.3 %																																																			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																																	
	事業	18 共同学校事務室運営事業					4,683千円																																																			
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源																																																						
目的	学校事務処理の適正化及び標準化、効率化、学校マネジメント機能の強化等を図るため、共同学校事務室を設置し、学校の教育力・組織力の向上を推進する。																																																									
主要な事務・事業の概要	○共同学校事務室運営経費		4,277千円		＜経費内訳＞																																																					
	共同で実施する業務				<table><tr><td>事務局</td><td>消耗品費</td><td>印刷製本費</td><td>修繕料</td><td>通信運搬費</td><td>備品購入費</td><td>合計</td></tr><tr><td>峰山</td><td>190千円</td><td>-</td><td>165千円</td><td>17千円</td><td>596千円</td><td>968千円</td></tr><tr><td>大宮</td><td>22千円</td><td>22千円</td><td>57千円</td><td>16千円</td><td>587千円</td><td>704千円</td></tr><tr><td>網野</td><td>259千円</td><td>23千円</td><td>99千円</td><td>22千円</td><td>596千円</td><td>999千円</td></tr><tr><td>丹後・弥栄</td><td>42千円</td><td>-</td><td>33千円</td><td>5千円</td><td>991千円</td><td>1,071千円</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>37千円</td><td>-</td><td>22千円</td><td>-</td><td>476千円</td><td>535千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>550千円</td><td>45千円</td><td>376千円</td><td>60千円</td><td>3,246千円</td><td>4,277千円</td></tr></table>					事務局	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計	峰山	190千円	-	165千円	17千円	596千円	968千円	大宮	22千円	22千円	57千円	16千円	587千円	704千円	網野	259千円	23千円	99千円	22千円	596千円	999千円	丹後・弥栄	42千円	-	33千円	5千円	991千円	1,071千円	久美浜	37千円	-	22千円	-	476千円	535千円	合計	550千円	45千円	376千円	60千円	3,246千円	4,277千円
	事務局	消耗品費	印刷製本費	修繕料	通信運搬費	備品購入費	合計																																																			
	峰山	190千円	-	165千円	17千円	596千円	968千円																																																			
	大宮	22千円	22千円	57千円	16千円	587千円	704千円																																																			
	網野	259千円	23千円	99千円	22千円	596千円	999千円																																																			
	丹後・弥栄	42千円	-	33千円	5千円	991千円	1,071千円																																																			
	久美浜	37千円	-	22千円	-	476千円	535千円																																																			
	合計	550千円	45千円	376千円	60千円	3,246千円	4,277千円																																																			
	・学校経営全体に関わる業務（各種文書の収受発出など情報管理）				※令和6年度から、丹後と弥栄の共同学校事務室を統合																																																					
・教職員人事に関する業務（給与、旅費、福利厚生、服務等に関する業務）																																																										
・教育活動に直接関係する業務（学校予算、備品、就学援助等に関する業務）																																																										
・そのほか校内体制に応じて参画する業務 等																																																										
・消耗品費（コピー用紙、インクほか）		550千円																																																								
・印刷製本費（封筒）		45千円																																																								
・修繕料（印刷機修理、ヒーター修理ほか）		376千円																																																								
・役務費（通信運搬費）		60千円																																																								
・備品購入費（掃除機、ワイヤレスマイクほか）		3,246千円																																																								
成果・課題	○事務処理状況の確認や、帳簿類の相互チェックを行い、事務の適正な執行を図るとともに、事務職員のスキルアップにつなげることができた。 ○役割を分担し、学校規模による事務量の差を調整することで、安定した学校事務に取り組むことができた。																																																									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	673千円		940千円	267千円	71.5 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	19 学校適正配置推進事業					0千円			
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源							
目的	「京丹後市学校適正配置基本計画」を円滑に推進するため、適正配置に向けた具体的な取組を進めるとともに、適正配置校・拠点校の式典準備を実施する。									
主要な事務・事業の概要	○適正配置関連経費		673千円							
	・消耗品（式典用消耗品、看板、装飾花 他）		231千円							
		・手数料（ごみ持込処理手数料、備品移設手数料 他）		442千円						
		令和8年4月適正配置								
		適正配置校	拠点校	学校づくり準備協議会						
		長岡小学校	いさなご小学校	令和7年4月23日設置						
		宇川小学校	丹後小学校	令和7年4月28日設置						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費	4,736千円		4,959千円	223千円	95.5 %		
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	20 学びの変革推進事業					5,708千円		
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）			535千円	
目的	「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」において提言されたプロジェクトの実行・推進にあたり、児童生徒が自ら学び、主体的に判断・行動し、周囲と協働しながら問題解決する資質や能力の育成強化を目的とした、子どもたちがワクワクする学びの変革に係る教育活動の推進を図る。			繰入金	ふるさと応援基金繰入金			2,877千円	
			繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			997千円		
主要な事務・事業の概要	○プログラミング教育（専門分野の学び）推進 371千円 オンラインでの遠隔授業により、外部の専門家による高度な学びの環境を実現するとともに、免許外担任で対応する教員を支援				○学びの変革に係る補助金 2,780千円 児童生徒が自ら学び、主体的に判断・行動し、周囲と協働しながら問題解決する能力の育成を目的とした事業を学校の提案申請よりに採択し実施				
	・実施校：丹後中学校、弥栄中学校 ・内 容：第3学年の技術科「プログラミングによる問題解決」等 ・実施回数：17回（両校同時授業）				・実施校 小学校10校、中学校4校 ・事業数 計17事業（複数実施校 峰山中（3事業）網野中（2事業））				
	・講師報酬 320千円 ・講師旅費 51千円				○出張旅費（普通旅費、有料道路通行料） 105千円 「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」において提言されたプロジェクトを実行・推進するため、国府及び域外企業との連携等のための出張旅費				
	○プログラミング教材使用料 1,161千円 情報活用能力を育成するためのプログラミング教材を導入し、専門的な分野の学びをより充実するとともに教員の働き方改革を支援				・行先 近畿経済産業局、群馬県吉岡町等				
	・対象：全中学校1～3年生（技術科）				・旅費 86千円				
	○アドバイザー謝金 319千円 新たな教育・人材育成プロジェクトの実行・推進にあたり、アントレプレナーシップ、中高連携、地域協働、ICT等の分野の専門的・技術的な事項について、助言等を受けた（7人、12回）				成果・課題	・有料道路使用料 19千円			
						○遠隔授業の実施及びプログラミング教材の導入により、より充実した専門的な学びを子ども達に提供することができた。 ○アドバイザーから助言を受けることにより、新たな教育・人材育成プロジェクトの実行・推進を行った。 ○先進地視察や各種イベント参加等により、他自治体や民間企業の先進的な取組について、情報収集及び交流を行うことができた。 ○学びの変革推進補助金の活用により、各校の主体的な教育活動を支援することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	11,671千円		11,884千円	213千円	98.2 %			
	目	02 事務局費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	50 事務局一般経費					12,527千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				2,990千円	
				諸収入	市有自動車損害共済金				269千円	
目的	教育委員会事務局の円滑な運営のための経費を計上するとともに、全国部活動特別入学選抜による入学生に補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図る。 また、部活動の地域移行等に関する各検討会を設置、運営するもの。									
主要な事務・事業の概要	○事務局運営に係る経費		6,892千円		【所管：学校教育課】					
	・会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		6,252千円		○京丹後市地域部活動検討会議経費					82千円
	・教育委員会活動点検評価謝金（2人）		40千円		・委員会謝金（1～12人×2回）					72千円
	・交際費		10千円							10千円
	・出張旅費（教育長、職員等）		370千円							
	・消耗品費ほか		220千円		【所管：生涯学習課（スポーツ推進室）】					
	○公用車の維持管理経費		1,574千円		○激励金（スポーツ大会等出場：58人）					650千円
	○各協議会、団体への負担金		133千円							
	○高等学校全国募集入学生応援補助金		2,340千円							
	・令和5・6年度入学生		900千円							
月額15千円×12月×5人										
・令和7年度入学生		1,440千円		成果・課題	○高等学校全国募集入学生応援補助金により、地域のスポーツ風土を生かした部活動を応援することで、人材の育成及び地域の活性化に寄与した。 ○部活動の地域移行を検討するにあたり、本市の部活動の現状、各関係機関の意見、近隣市町の状況を確認することができた。					
月額20千円×12月×6人										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	01 教育総務費	21,051千円		21,202千円	151千円	99.2 %			
	目	03 外国語活動推進費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	01 外国語指導助手招致事業					22,754千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源							
目的	中学校の英語授業補助、小学校の外国語授業及び外国語活動推進のため、一般財団法人自治体国際化協会のJETプログラムを活用して、外国語指導助手（ALT）を任用する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（外国語指導助手）任用経費（4人分）		19,977千円	○外国語指導助手の賃貸住宅に係る経費						226千円
	・報酬 任用初年度：月額335千円 任用2年目：月額345千円 任用3年目：月額355千円 任用4、5年目：月額360千円 ・社会保険料、労災保険料、雇用保険料、共済組合負担金 ・費用弁償		16,693千円 2,770千円 514千円	・住居の更新料、住宅保険等 ・備品修繕料等						218千円 8千円
	○外国語指導助手支援員任用経費（1人） 出入国時及び生活支援等に係る通訳		55千円	○負担金 ・自治体国際化協会負担金等						786千円
	○外国語指導助手等の旅費 ・研修旅費等（ALT、職員）		7千円							
				成果・課題	○日本人の外国語教諭のサポート並びにEnglishCampなどの事業において一役を担っている。また、国際理解教育の促進などALTの果たす役割が期待されており、今後もALTの継続的な確保が必要である。 ○切れ目のない継続的な活用のため、ALTの心身的な負担軽減などの生活支援の充実が必要である。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局									
	項	01 教育総務費	57,738千円		57,768千円	30千円	99.9 %											
	目	04 奨学費					(参考)当初予算額	課	教育総務課									
	事業	01 奨学金事業					76,718千円											
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	繰入金	奨学基金繰入金				120千円									
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				40,000千円									
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				318千円									
				繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金				13,832千円									
目的	大学等の高等教育への進学を希望する者で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金の給付及び貸付を行う。 また、大学等を卒業後に就業する者で、本市に定住し、奨学金の返還を行う者に対する定住促進奨学金支援や大学等受験料支援を行う。																	
主要な事務・事業の概要	○奨学金選考・検討委員会に係る経費		57千円		○定住促進奨学金返還支援制度					43,411千円								
	・報酬（委員6人×4千円×2回）		48千円		・広報チラシ印刷製本費（10,000枚）					53千円								
	・費用弁償		9千円		・大学等へのチラシ送料（524校）					65千円								
					・定住促進奨学金返還支援補助金（235人）					43,293千円								
	○奨学金給付金		120千円		＜参考＞交付実績													
	・市民税所得割非課税世帯		120千円		<table><tr><td></td><td>R5年度</td><td>R6年度</td><td>R7年度</td></tr><tr><td>交付実績人数</td><td>169人</td><td>208人</td><td>235人</td></tr></table>						R5年度	R6年度	R7年度	交付実績人数	169人	208人	235人	
		R5年度	R6年度	R7年度														
	交付実績人数	169人	208人	235人														
	月額10千円×12月×1人（前・後期）																	
	○奨学金貸付金		13,832千円		○大学等受験料支援補助金					318千円								
・修学支援金（16人）		11,832千円		・補助金（7人）														
大学生等 1,000千円×9人 400千円×1人 960千円×1人 232千円×3人 388千円×2人																		
・入学支度金（3人）		2,000千円		成果・課題	○勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援により、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。 ○定住促進奨学金返還補助事業について、大学等への周知やチラシの配布等を行い、本事業を通じた定住促進に努めた。 ○大学等受験料支援補助金により、進学に向けた支援を行った。													
大学等入学予定者 700千円×2人 600千円×1人																		

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	167,225千円		170,776千円	3,551千円	97.9 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校管理運営事業					171,358千円		
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	諸収入 小学校施設光熱水費利用負担金 3千円					
目的	小学校を管理運営し、児童及び教職員により良い教育環境を提供する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員10人）		41,348千円		○使用料及び賃借料 3,228千円				
	○需用費		111,253千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料 204千円				
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		23,338千円		・コピー機借上料、印刷機借上料 3,024千円				
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		353千円		○備品購入費 1,862千円				
	・電気代		67,545千円		・児童用椅子（6校分122脚）、給食配膳台（1台）他				
	・水道料		19,962千円		○負担金、補助及び交付金 571千円				
	・修繕費（印刷機等）		55千円		京都府小学校校長会負担金、京都府連合小学校教頭会負担金、				
	○役務費		5,803千円		京都府小学校教務主任会負担金、京都府小学校教育研究会負担金、				
	・電話代、郵送料		4,330千円		京都府へき地・小規模校教育研究会負担金等				
	・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		1,473千円						
	○委託料		3,160千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、児童が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。			
	・害虫駆除、情報通信機器保守等								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	74,858千円		74,861千円	3千円	99.9 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業					32,800千円		
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（5.5/10）			21,314千円	
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校の改修工事等を行う。			市債	小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）			19,800千円	
				市債	小学校施設整備事業債（過疎債）			22,700千円	
主要な事務・事業の概要	○小学校体育館LED化工事（弥栄小学校1校）		15,728千円		○その他改修等工事		14,111千円		
	・工事監理委託料		658千円		・網野南・島津小学校簡易車庫等設置工事		1,619千円		
	・工事請負費		15,070千円		・久美浜小学校4年生教室空調設備設置工事		1,604千円		
	○いさなご小学校多目的トイレ設置及び図工室等改修工事		40,899千円		・橘小学校体育館屋根雨漏り修繕工事		995千円		
	・工事設計監理委託料		2,524千円		・かぶと山小学校漏水修繕工事		985千円		
	・工事請負費		38,375千円		・高龍小学校体育館屋上雨漏り修繕工事		992千円		
	建築主体工事		28,963千円		・宇川小学校保健室空調設備修繕工事		946千円		
	機械設備工事		9,412千円		・各小学校施設改修工事ほか12件		6,970千円		
					○令和8年度工事に向けた設計業務委託		4,120千円		
					・網野北・網野南・橘・島津小学校体育館LED化工事設計				
				成果・課題	○いさなご小学校多目的トイレ設置及び図工室等改修工事、弥栄小学校体育館のLED化工事を行うなどの施設整備を行い、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の長寿命化を計画的に実施する必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	113,609千円		157,960千円	44,351千円	71.9 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業（繰越）					157,960千円		
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	市債 小学校施設整備事業債（合併特例債） 105,700千円					
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（2校）施設の改修工事等を行う。								
主要な事務・事業の概要	○峰山小学校擁壁改修工事		105,999千円						
	・工事修正設計・地質調査委託料		7,044千円						
	・工事請負費		98,923千円						
	・駐車場補償金		32千円						
	○網野北小学校下水道接続等改修工事		7,610千円						
	・工事監理委託料		498千円						
	・浄化槽最終清掃等業務委託料		2,162千円						
	・工事請負費		4,950千円						
</									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局	
	項	02 小学校費	7,438千円		7,555千円		117千円		98.4 %				
	目	01 小学校管理費							(参考)当初予算額				
	事業	04 児童教職員健康管理事業							8,729千円				
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な 財源	府補 7素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2） 119千円									
目的	学校における児童及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、児童教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健・安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。												
主要な 事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料、児童用生理用品 （うち児童用生理用品消耗品費 79千円）		1,173千円		【児童検診内訳】								
	○フッ化物洗口用品 ・消耗品、医薬材料		316千円		尿検査委託料（春）		1次	2,232人	2次	37人			
	○緊急時対応経費 ・AED借上料（全16校各1台設置）		1,017千円		尿検査委託料（秋）		1次	2,228人	2次	35人			
	○検診医用保健衛生用品 ・衛生消耗品 （マスク、手指消毒液、ゴム手袋等）		128千円		心臓検診委託料		1次	746人	（対象：1・4年生、経過観察者）				
	○児童・教職員各種健診 ・児童検診委託料		4,804千円				2次	89人					
	・教職員健康診断委託料 （一般検査、胃部検査、ストレス検査）		3,730千円		眼科検診委託料		2,224人						
	・教職員結核検診委託料		837千円		耳鼻科検診委託料		2,228人						
成果・課題	・医師送迎用経費（借上料）		181千円		○各種健康診断の実施や衛生環境の保持に加え、全校で生理用品を気兼ねなく使用できる環境づくりに取り組む等、児童及び教職員の健康の保持増進に取り組むことができた。 ○市内全小学校においてフッ化物洗口を実施し、児童のむし歯予防の環境を整えることができた。								
			56千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																												
	項	02 小学校費	149,838千円		151,031千円	1,193千円	99.2 %																														
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																												
	事業	05 小学校スクールバス等通学支援事業					140,723千円																														
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	市債 小学校スクールバス整備事業債（過疎債） 26,300千円																																	
目的	遠距離通学及び特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを定期運行するとともに、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、通学の状況に応じて遠距離通学補助金を支給する。																																				
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料 114,559千円		○遠距離通学補助金 110千円																																		
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託		<table><tr><td colspan="2">学校名</td><td colspan="2">対象児童数</td><td colspan="2">補助金額</td></tr><tr><td colspan="2">宇川小学校</td><td colspan="2">7人</td><td colspan="2">110千円</td></tr></table>							学校名		対象児童数		補助金額		宇川小学校		7人		110千円																	
	学校名		対象児童数		補助金額																																
	宇川小学校		7人		110千円																																
	<table><tr><td>いさなご小学校</td><td>3台</td><td>橘小学校</td><td>1台</td><td>久美浜小学校</td><td>1台</td></tr><tr><td>しんざん小学校</td><td>1台</td><td>島津小学校</td><td>1台</td><td>高龍小学校</td><td>4台</td></tr><tr><td>大宮南小学校</td><td>3台</td><td>丹後小学校</td><td>4台</td><td>かぶと山小学校</td><td>4台</td></tr><tr><td>網野北小学校</td><td>1台</td><td>宇川小学校</td><td>1台</td><td rowspan="2">計</td><td rowspan="2">31台</td></tr><tr><td>網野南小学校</td><td>2台</td><td>弥栄小学校</td><td>5台</td></tr></table>		いさなご小学校	3台	橘小学校	1台	久美浜小学校	1台	しんざん小学校	1台	島津小学校	1台	高龍小学校	4台	大宮南小学校	3台	丹後小学校	4台	かぶと山小学校	4台	網野北小学校	1台	宇川小学校	1台	計	31台	網野南小学校	2台	弥栄小学校	5台	(令和8年3月末時点)						
	いさなご小学校	3台	橘小学校	1台	久美浜小学校	1台																															
	しんざん小学校	1台	島津小学校	1台	高龍小学校	4台																															
	大宮南小学校	3台	丹後小学校	4台	かぶと山小学校	4台																															
	網野北小学校	1台	宇川小学校	1台	計	31台																															
	網野南小学校	2台	弥栄小学校	5台																																	
○車両維持管理経費 8,626千円		○備品購入費 26,341千円																																			
・修繕料、燃料費、消耗品費		・マイクロバス 2台（29人乗り）																																			
○バス停維持管理経費 8千円		※いさなご小学校																																			
・土地借上料（久美浜町佐野地内 15.66㎡）		・マイクロバス 1台（29人乗り）																																			
○運転手適性診断に係る経費 69千円		※丹後小学校																																			
		○バス更新に係る経費 125千円																																			
		・登録料、リサイクル料、損害保険料																																			
		※いさなご小学校（2台）及び丹後小学校（1台）																																			
成果・課題			○スクールバスの運行及び遠距離通学の児童の保護者へ支援を行うことにより、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。																																		
			○65歳以上の運転手に対し、運転手適性診断の受講を義務付け、交通事故の抑制を図った。																																		
			○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。																																		
		○猛暑期の7月～9月において、スクールバス夏季下校便の運行により、児童の熱中症対策を行うことができた。																																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	24,206千円		24,400千円	194千円	99.2 %		
	目	01 小学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	06 小学校施設管理事業					24,057千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	使用料 公有財産使用料 8千円					
目的	児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校の維持管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル		288千円		○施設修繕用原材料費 ・修繕用木材等 35千円				
	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備、遊具等の修繕他		9,565千円		○網野北小学校運動場芝生維持管理経費 888千円 ・芝生肥料、芝刈機用燃料、芝刈機修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 芝生目土作業委託料				
	○各種検査等手数料 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、備品移設手数料等		226千円						
	○施設保守管理等委託料（14業務） ・電気設備保守管理、エレベーター保守点検、学校警備、貯水槽等保守点検、給食施設消毒等業務、給排水設備保守点検、浄化槽維持管理、グリストラップ処理、消防設備等保守点検、給食用リフト保守点検、雑木伐採、プール循環点検、害虫駆除、機械設備等点検管理業務		13,054千円		成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。			
	○施設用地借上料 ・いさなご小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡）		150千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	02 小学校費	23,018千円		25,311千円	2,293千円	90.9 %				
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	01 小学校教育振興事業					23,710千円				
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			2,042千円			
				府補	子どもの教育のための総合交付金			382千円			
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			2,043千円			
目的		児童の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど児童の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れ、教育内容の充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業写真、卒業記念品 (入学児童326人分、卒業児童388人分)		1,304千円		○校外学習活動					5,686千円	
					バス運転委託料、自動車借上料、駐車場使用料 燃料費、講師費用弁償						
	○学力検査(全校・各学年)		1,790千円		○大阪・関西万博見学(16校 392人 5年生)					4,086千円	
					社会見学企画委託料、自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料						
	○学習教材、教材消耗品等		9,387千円		○民間プール施設を利用した水泳指導(網野北小学校)					765千円	
	・学習教材消耗品		8,529千円		水泳指導委託料、バス運転委託料						
	・学習教材冊子				実施日数：4日						
	「わたしたちの きょうたんご」(3年生用 426冊)		256千円								
	「京丹後市地域学習副読本」(5年生用 500冊)		370千円								
	・キャリアパスポート(ファイル購入) 340冊		72千円								
	・図書整備手数料		16千円								
	・著作物使用料		144千円								
		教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、児童の学習用端末に送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費		成果・課題		○学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。 ○市内全小学5年生が大阪・関西万博を見学し、世界の最先端技術や文化を体験することで、国際感覚の醸成と、知的好奇心の育成に取り組むことができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	7,371千円		8,263千円	892千円	89.2 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 小学校教育振興備品整備事業					7,307千円		
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な 財源	寄附金 ふるさと応援寄附金 1,000千円					
目的	児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。								
主要な 事務・事業の 概要	○教材備品及び図書購入		6,774千円						
	・教材備品整備		3,282千円						
	・学校図書整備		3,492千円						
	(うち、ふるさと応援寄附金充当（丹後小学校）1,000千円）								
	○教材備品修繕費（楽器ほか）		123千円						
	○学校図書館図書管理システム使用料		466千円						
	○教材用家電リサイクル料		8千円						
					成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努め、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																				
	項	02 小学校費	21,644千円		21,751千円	107千円	99.5 %																						
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																				
	事業	03 小学校就学援助事業					24,911千円																						
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			45千円																					
目的	経済的理由によって就学困難な児童の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級児童等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な児童が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。			国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			1,024千円																					
			府補	きょうと地域連携交付金			21千円																						
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		19,468千円		○特別支援教育就学奨励費（特別支援学級入級者等）						2,130千円																		
	・要保護認定者 14人（R6：17人）		90千円		・認定者 70人（R6：80人）																								
	修学旅行費		90千円		学用品費等						668千円																		
	・準要保護認定者 257人（R6：240人）		18,009千円		給食費						1,213千円																		
	学用品費等		4,766千円		修学旅行費						223千円																		
	給食費		9,792千円		通学費（交通費）						26千円 ※対象者数 7人																		
	修学旅行費		1,544千円		＜参考＞ 認定者数																								
	医療費		31千円																										
	オンライン学習通信費		1,876千円																										
	※申請者数 294人（R6：299人） 認定者数 271人（R6：257人）				<table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>就学援助費</td><td>264人</td><td>251人</td><td>246人</td><td>257人</td><td>271人</td></tr><tr><td>就学奨励費</td><td>45人</td><td>61人</td><td>78人</td><td>80人</td><td>70人</td></tr></table>						年度	R3	R4	R5	R6	R7	就学援助費	264人	251人	246人	257人	271人	就学奨励費	45人	61人	78人	80人	70人	
年度	R3	R4	R5	R6							R7																		
就学援助費	264人	251人	246人	257人							271人																		
就学奨励費	45人	61人	78人	80人	70人																								
・令和8年度新入学児童学用品費入学前支給分		1,369千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある児童の通学費を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学児童学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。																								
支給者数 24人 ※令和8年2月13日支給																													
○就学援助世帯Wi-Fiルーター貸出		46千円																											
・貸出者数 5人																													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																						
	項	02 小学校費	79,815千円		81,034千円	1,219千円	98.4 %																																																								
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																																						
	事業	04 小学校スクールサポーター等設置事業					88,256千円																																																								
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	繰入金 過疎地域振興基金繰入金 12,000千円																																																											
目的		児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するため、スクールサポーター（介護職員）を配置するとともに、教育活動の推進と学校経営の安定を図るため、教員資格のあるスクールサポーター（講師）を配置する。																																																													
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（24人） ＜スクールサポーター内訳＞ ・介護職員 21人（1日6.5時間、週5日勤務） ・講師 3人（1日7時間、週5日勤務）		79,811千円		＜配置一覧＞ <table><tr><td>学校名</td><td>介護</td><td>講師</td><td>学校名</td><td>介護</td><td>講師</td></tr><tr><td>峰山小学校</td><td>2人</td><td>-</td><td>島津小学校</td><td>1人</td><td>-</td></tr><tr><td>いさなご小学校</td><td>2人</td><td>-</td><td>丹後小学校</td><td>1人</td><td>-</td></tr><tr><td>しんざん小学校</td><td>1人</td><td>-</td><td>宇川小学校</td><td>0人</td><td>2人</td></tr><tr><td>長岡小学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>弥栄小学校</td><td>1人</td><td>-</td></tr><tr><td>大宮第一小学校</td><td>4人</td><td>-</td><td>久美浜小学校</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>大宮南小学校</td><td>1人</td><td>-</td><td>高龍小学校</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>網野北小学校</td><td>1人</td><td>-</td><td>かぶと山学校</td><td>1人</td><td>-</td></tr><tr><td>網野南小学校</td><td>1人</td><td>-</td><td>計</td><td>21人</td><td>3人</td></tr></table>					学校名	介護	講師	学校名	介護	講師	峰山小学校	2人	-	島津小学校	1人	-	いさなご小学校	2人	-	丹後小学校	1人	-	しんざん小学校	1人	-	宇川小学校	0人	2人	長岡小学校	1人	1人	弥栄小学校	1人	-	大宮第一小学校	4人	-	久美浜小学校	2人	-	大宮南小学校	1人	-	高龍小学校	2人	-	網野北小学校	1人	-	かぶと山学校	1人	-	網野南小学校	1人	-	計	21人	3人
	学校名	介護	講師	学校名	介護	講師																																																									
峰山小学校	2人	-	島津小学校	1人	-																																																										
いさなご小学校	2人	-	丹後小学校	1人	-																																																										
しんざん小学校	1人	-	宇川小学校	0人	2人																																																										
長岡小学校	1人	1人	弥栄小学校	1人	-																																																										
大宮第一小学校	4人	-	久美浜小学校	2人	-																																																										
大宮南小学校	1人	-	高龍小学校	2人	-																																																										
網野北小学校	1人	-	かぶと山学校	1人	-																																																										
網野南小学校	1人	-	計	21人	3人																																																										
		○事務費（旅費、校外行事参加負担金等）	4千円		成果・課題 ○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費	1,410千円		1,619千円	209千円	87.0 %		
	目	02 小学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 小学校丹後学等教育活動実践事業					1,617千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源						
目的	地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組む。								
主要な事務・事業の概要	○丹後学等教育活動実践事業（講師謝金等） ・丹後学、総合的な学習活動推進事業（全小学校で実施） ・峰山地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・大宮地域 稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・網野地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・丹後地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り、校外学習 等 ・弥栄地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験 等 ・久美浜地域 丹後ばら寿司づくり、稲作体験、野菜作り 等		964千円	○教育研究事業負担金 98千円 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るため、各教科の研究、研修会等を実施 ○修学旅行引率補助金 348千円 16校、引率教員 61人					
				成果・課題	○地元地域の特産品や、稲作づくりを体験することで、地域への理解と愛着を深めることができた。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	73,008千円		74,086千円	1,078千円	98.5 %			
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	02 中学校管理運営事業					65,142千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	諸収入 19千円						
目的	中学校を管理運営し、生徒及び教職員により良い教育環境を提供する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（作業員4人）		11,695千円		○使用料及び賃借料					326千円
	○需用費		56,134千円		・テレビ受信料、ガス警報器使用料					78千円
	・消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、灯油ほか）		12,524千円		・コピー機借上料、印刷機借上料					248千円
	・食糧費、印刷製本費（来客用茶、卒業証書ほか）		162千円		○備品購入費					973千円
	・電気代		33,585千円		・生徒用椅子（2校分118脚）					
	・水道料		9,854千円		○負担金、補助及び交付金					1,048千円
	・修繕費（印刷機等）		9千円		京都府中学校校長会負担金、京都府中学校教頭会負担金、					
	○役務費		2,821千円		京都府中学校教務主任会負担金、京都府中学校教育研究会負担金、					
	・電話代、郵送料		2,075千円		京丹後市中学校体育連盟負担金、京都府学校図書館協議会負担金等					
	・手数料（ピアノ調律、ミシン調整ほか）		746千円							
	○委託料		11千円		成果・課題	○教育環境の整備や維持管理など、生徒が安全に安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○より充実した教育環境の整備と学校施設の効率的な管理運営に努めていく必要がある。				
	・害虫駆除									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	4,967千円		4,967千円	0千円	100.0 %			
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	03 中学校施設改修事業					1,770千円			
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源							
目的	生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校の改修工事等を行う。									
主要な事務・事業の概要	○各種改修工事		3,757千円	○令和8年度工事に向けた設計業務委託						1,210千円
	・ 峰山中学校給食室給湯器取替工事		482千円	・ 丹後中学校階段昇降機設置等工事設計業務委託						
	・ 大宮中学校校長室空調更新工事		1,045千円							
	・ 大宮中学校水道修繕工事		770千円							
	・ 大宮中学校給食食品保管庫屋上防水改修工事		286千円							
	・ 久美浜中学校テニスコートネット支柱改修工事		288千円							
	・ 久美浜中学校職員室空調設備改修工事		886千円							
				成果・課題	○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。 ○学校施設の長寿命化を計画的に実施する必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,858千円	5,187千円	329千円	93.6 %		
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 生徒教職員健康管理事業				6,070千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源					
目的	学校における生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に基づき、生徒教職員の健康診断、保健衛生、その他の保健、安全に関する事業を行うとともに、関連機器等を整備する。							
主要な事務・事業の概要	○保健衛生用品、医薬材料、生徒用生理用品 （うち生徒用生理用品消耗品 60千円）		616千円	【生徒検診内訳】				
	○緊急時対応経費 ・AED借上料 （全6校各2台設置）		762千円	尿検査委託料（春）1次 1,101人 2次 58人 尿検査委託料（秋）1次 1,090人 2次 45人 心臓検診委託料 1次 394人（対象：1年生、経過観察者） 2次 57人 眼科検診委託料 1,092人 耳鼻科検診委託料 1,089人 血液検査委託料 326人（対象：2年生、経過観察者） 脊柱側わん症検診委託料 18人（校医抽出者）				
主要な事務・事業の概要	○検診医用保健衛生用品 ・衛生消耗品（ゴム手袋）		44千円					
	○生徒・教職員各種健診 ・生徒検診委託料 ・教職員健康診断委託料 （一般検査、胃部検査、ストレス検査） ・教職員結核検診委託料 ・医師送迎用経費（借上料）		3,436千円 2,776千円 526千円 114千円 20千円	成果・課題	各種健康診断の実施や衛生環境の保持に加え、全校で生理用品を気兼ねなく利用できる環境づくりに取り組む等、生徒及び教職員の健康の保持増進に取り組むことができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																						
	項	03 中学校費	76,735千円	77,272千円	537千円	99.3 %																																								
	目	01 中学校管理費				(参考)当初予算額	課	学校教育課																																						
	事業	05 中学校スクールバス等通学支援事業				78,782千円																																								
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実																																													
目的	遠距離通学及び特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを定期運行するとともに、自転車通学をする生徒を対象に、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図るため、自転車通学用ヘルメット購入補助金を支給する。		主な財源																																											
主要な事務・事業の概要	○スクールバス運行管理委託料			64,219千円		○自転車通学用ヘルメット購入補助金（補助率1/2）				190千円																																				
	※バスの運転及び車両の維持管理を業者委託																																													
	<table><tr><td>峰山中学校</td><td>1台</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>(1台)</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>3台</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>2台</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>1台</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>9台</td></tr><tr><td>計</td><td>16台(17台)</td></tr></table>		峰山中学校	1台		大宮中学校			(1台)	網野中学校	3台	丹後中学校	2台	弥栄中学校	1台	久美浜中学校	9台	計	16台(17台)		<table><tr><td>学校名</td><td>対象生徒数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>78人</td><td>78千円</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>42人</td><td>42千円</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>19人</td><td>19千円</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>10人</td><td>10千円</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>36人</td><td>36千円</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>5人</td><td>5千円</td></tr><tr><td>計</td><td>190人</td><td>190千円</td></tr></table>				学校名	対象生徒数	補助金額	峰山中学校	78人	78千円	大宮中学校	42人	42千円	網野中学校	19人	19千円	丹後中学校	10人	10千円	弥栄中学校	36人	36千円	久美浜中学校	5人	5千円	計
	峰山中学校	1台																																												
	大宮中学校	(1台)																																												
網野中学校	3台																																													
丹後中学校	2台																																													
弥栄中学校	1台																																													
久美浜中学校	9台																																													
計	16台(17台)																																													
学校名	対象生徒数	補助金額																																												
峰山中学校	78人	78千円																																												
大宮中学校	42人	42千円																																												
網野中学校	19人	19千円																																												
丹後中学校	10人	10千円																																												
弥栄中学校	36人	36千円																																												
久美浜中学校	5人	5千円																																												
計	190人	190千円																																												
※大宮中は、大宮南小スクールバスを使用																																														
○車両維持管理経費		12,326千円																																												
・消耗品費、修繕料、燃料費			成果・課題	○スクールバスの運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○より安全なスクールバスの運行を行うため、引き続き運行管理委託業者への指導及びドライバーへの安全啓発等を行う必要がある。 ○自転車通学をする生徒を対象としたヘルメットの購入支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。																																										

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	9,809千円		9,854千円	45千円	99.5 %			
	目	01 中学校管理費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	06 中学校施設管理事業					9,854千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	使用料	公有財産使用料	15千円				
				使用料	中学校施設使用料	1千円				
目的	生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校の維持管理を行う。									
主要な事務・事業の概要	○施設修繕用消耗品費 ・グラウンド用山土、砂、体育館用ドレッシングオイル等		222千円		○施設用地借上料 ・弥栄中学校（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡）					1,454千円
	○施設等修繕費 ・校舎、体育館、給食調理室、消防設備等の修繕		4,162千円		○施設修繕用原材料費 ・補修用木材等					15千円
	○各種検査等手数料 ・貯水槽法定検査		65千円							
	○施設保守管理等委託料（9業務） ・電気設備保守管理、貯水槽等保守点検、空調設備清掃、グリストラップ処理、消防設備等保守点検、学校警備、給食施設消毒等業務、給食用リフト保守点検、雑木伐採		3,891千円							
					成果・課題	○法令等に基づいた定期点検を行うなど、施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化した施設が多い中、良好な教育活動を行うため、安全性・機能性の確保に努め、今後も適切な維持管理を行う必要がある。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	31,777千円		32,086千円	309千円	99.0 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	01 中学校教育振興事業					24,975千円		
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			2,955千円	
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			2,954千円	
目的	生徒の学力充実、向上を目指すとともに、豊かな人間性、健やかな体づくりなど生徒の「たくましく生きる力」を育成するため、学力調査等を踏まえた指導、副読本の活用や学習教材冊子の作成、学校外での学習活動等を取り入れるとともに、体育大会への参加や部活動等を支援し、教育内容の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○入学写真、卒業記念品 （入学生徒386人分、卒業生徒363人分）		1,252千円		○校外学習、部活動 17,092千円				
	○学習指導等 ・学力検査（全校・各学年）		2,024千円		・バス運転委託料 13,597千円				
	○学習教材、教材消耗品等 ・学習教材消耗品 ・著作物使用料		5,500千円 5,392千円 108千円		・楽器運搬手数料（ティンパニ、チューバほか） 88千円				
	教員が授業等で他者の著作物を用いて作成した教材を、生徒のタブレットに送信したり、サーバにアップロードしたりするなど、ICTを活用した授業に必要な公衆送信に要する経費。				（第62回京都府吹奏楽コンクール） 出 場 日：令和7年8月2日（土） 会 場：京都コンサートホール 出 場 校：峰山中学校、大宮中学校 ・体育大会等選手派遣費補助金 3,407千円				
					○大阪・関西万博見学（6校 737人 ※中学1・2年生） 5,909千円				
					・社会見学企画委託料				
成果・課題					○学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かした様々な社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。 ○市内全中学1・2年生が大阪・関西万博を見学し、世界の最先端技術や文化を体験することで、国際感覚の醸成と、知的好奇心の育成に取り組むことができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	4,814千円		5,036千円	222千円	95.5 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	02 中学校教育振興備品整備事業					5,014千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な 財源						
目的	生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を目指すため、授業に必要な学習教材を整備し、学習活動と教育内容の充実を図るとともに、学校図書を計画的に整備する。								
主要な 事務・事業の 概要	○教材備品及び図書購入		4,062千円						
	・教材備品整備		3,035千円						
	・学校図書整備		1,027千円						
	○教材備品修繕費（楽器ほか）		230千円						
	○楽器メンテナンス費用（峰山中学校、弥栄中学校、網野中学校）		330千円						
	○学校図書館図書管理システム使用料		192千円		成果・課題	学習指導要領の下、必要な学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努め、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	03 中学校費	22,801千円		23,038千円	237千円	98.9 %			
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	23,568千円		
	事業	03 中学校就学援助事業								
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	国補	就学援助費補助金（1/2）			42千円		
				国補	特別支援教育就学奨励費補助金（1/2）			542千円		
目的	経済的理由によって就学困難な生徒の保護者を支援するため、学用品費、学校給食費、医療費等を支給するとともに、特別支援学級入級生徒等の保護者の経済的負担を軽減するため、奨励費を支援するほか、障害等により通学が困難な生徒が公共交通等を利用した際の通学費（交通費）及び送迎時の燃料代を支給する。									
主要な事務・事業の概要	○就学援助費		21,626千円		○特別支援教育就学奨励費（特別支援学級入級者等）					1,166千円
	・要保護認定者 6人（R6：9人）		84千円		・認定者 28人（R6：34人）					
	修学旅行費		84千円		学用品費等					480千円
	・準要保護認定者 159人（R6：144人）		18,518千円		給食費					402千円
	学用品費等		7,233千円		修学旅行費					274千円
	給食費		5,426千円		通学費（交通費）					10千円 ※対象者数 1人
	修学旅行費		3,763千円		＜参考＞ 認定者数					
	医療費		56千円							
	オンライン学習通信費		2,040千円							
	・準要保護認定者（被災生徒） 0人（R6：1人）									
※申請者数 175人（R6：174人） 認定者数 165人（R6：154人）										
・令和8年度新入学生徒学用品費入学前支給分		3,024千円		成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等の支援に加え、障害のある生徒の通学費を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○新入学生徒学用品費の入学前支給を行ったことで、新入学生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況などを考慮し、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。					
支給者数 48人 ※令和8年2月13日支給										
○就学援助世帯貸出用Wi-Fiルーター貸出		9千円								
・貸出者数 1人										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																								
	項	03 中学校費	42,292千円		42,556千円	264千円	99.3 %																																										
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課																																								
	事業	04 中学校スクールサポーター等設置事業					43,455千円																																										
まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	府補助活動指導員配置促進事業補助金（1/3）	3,000千円																																												
				繰入金	過疎地域振興基金繰入金	500千円																																											
目的	生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施するとともに保幼小中一貫教育の推進を図るため、スクールサポーターを配置する。 また、生徒のための心の相談員や部活動指導員、適正配置による通学バス等の事務の増加に対応するための事務職員をスクールサポーターとして配置する。																																																
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員（スクールサポーター）任用経費（23人） 42,094千円 ＜スクールサポーター内訳＞ ・介護職員 4人（4日7時間、1日6.5時間、週5日勤務） ・講師（小中一貫コーディネーター） 6人（1日7時間45分、週3日勤務） ・部活動指導員 12人（年間330時間、週5日勤務） ・事務補助員 1人（1日7時間、週5日勤務）																																																
	○事務費（旅費、校外行事参加負担金等） 198千円																																																
					＜配置一覧＞ <table><tr><th>学校名</th><th>介護</th><th>小中一貫 コーディネーター</th><th>部活動 指導員</th><th>事務 補助員</th></tr><tr><td>峰山中学校</td><td>2人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>大宮中学校</td><td>-</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>網野中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>丹後中学校</td><td>-</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>弥栄中学校</td><td>1人</td><td>1人</td><td>2人</td><td>-</td></tr><tr><td>久美浜中学校</td><td>-</td><td>1人</td><td>2人</td><td>1人</td></tr><tr><td>計</td><td>4人</td><td>6人</td><td>12人</td><td>1人</td></tr></table>					学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	部活動 指導員	事務 補助員	峰山中学校	2人	1人	2人	-	大宮中学校	-	1人	2人	-	網野中学校	1人	1人	2人	-	丹後中学校	-	1人	2人	-	弥栄中学校	1人	1人	2人	-	久美浜中学校	-	1人	2人	1人	計	4人	6人	12人	1人
学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	部活動 指導員	事務 補助員																																													
峰山中学校	2人	1人	2人	-																																													
大宮中学校	-	1人	2人	-																																													
網野中学校	1人	1人	2人	-																																													
丹後中学校	-	1人	2人	-																																													
弥栄中学校	1人	1人	2人	-																																													
久美浜中学校	-	1人	2人	1人																																													
計	4人	6人	12人	1人																																													
					成果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することでよりきめ細やかな指導及び円滑な授業を行うことができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校への教職員の配置を引き続き京都府へ要請する。あわせて不足する学校に対して効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費	941千円		1,060千円	119千円	88.7 %		
	目	02 中学校教育振興費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業					1,060千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な 財源						
目的		教員の指導力向上や、生徒の自己肯定感を高め未来を拓く力を身につけるため、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。 また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組む。							
主要な 事務・事業の 概要	○丹後学等教育活動実践事業			571千円					
	・着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金 等） 参加者：366人（2・3年生対象）			195千円					
	・丹後学、総合的な学習活動 市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験 等）			376千円					
	○教育研究事業負担金 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。			56千円					
	○修学旅行引率補助金 6校、引率教員46人			314千円	成果・課題	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、丹後学の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	243千円		294千円	51千円	82.6 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 社会教育委員設置事業					361千円		
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的	社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うとともに、地域の諸課題や市民の要望を反映した社会教育事業を展開するため、社会教育委員を設置する。								
主要な事務・事業の概要	○報酬（委員：11人、報酬対象：9人）		138千円	＜会議の主な内容＞（2回開催） ・令和6年度事業報告、令和7年度事業計画について ・都市拠点公共施設整備基本計画について ・令和8年度社会教育推進の重点について					
	・社会教育委員会議出席報酬（2回）		74千円						
	・その他会議出席報酬（研修会、府総会等）		64千円						
	○旅費（委員費用弁償）		25千円	＜委員研修等＞ ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会（3回、宮津市） ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会（6月10日：宮津市） ・京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月27日：長岡京市） ・丹後地方社会教育連絡協議会研修会（10月1日：京丹後市） ・丹後視覚障害者社会教育指導者研修会（11月11日、与謝野町） ・丹後地方社教委連だより編集会議（2回、宮津市）					
	○負担金、補助及び交付金		65千円						
	・丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金		56千円						
・京都府社会教育委員連絡協議会分担金		9千円							
○その他経費（消耗品費、有料道路通行料）		15千円							
				成果・課題	社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議し、また、研修の機会を通して得た知見等をもとに、市民ニーズを反映した社会教育行政の推進に寄与することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	6,197千円		6,434千円	237千円	96.3 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 社会教育総務一般経費					4,585千円		
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的		会計年度任用職員の配置等、社会教育事業全般に関する事務局経費							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費 （社会教育指導員1人、事務補助員1人（9月～） 配属先：生涯学習課）			5,836千円					
	○京丹後市連合婦人会活動補助金 ・活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか			361千円					
			成果・課題		○社会教育指導員の配置により、家庭教育事業など各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	576千円		602千円	26千円	95.6 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 はたちを祝う式典開催事業					602千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的	就職や進学などで社会経験を積み、はたちを迎えた方々が、夢と希望をもって自立的に未来を切り開き、活躍することを願うとともに、郷土への愛着を醸成することを目的に、記念式典を開催する。								
主要な事務・事業の概要	○報償費		335千円	〈令和8年京丹後市はたちを祝う式典〉					
	・報償金（アトラクション謝金）		87千円	・日 時 令和8年3月15日（日）午後2時00分～午後4時00分					
	・報償物品（記念写真）		248千円	・会 場 京都府丹後文化会館					
	○需用費		32千円	・対 象 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業者482人（男265人、女217人）					
	消耗品費（式次第用紙等）			・出席者 405人（男229人、女176人）（出席率84.0%）					
	○役務費		5千円	・内 容					
	通信運搬費（開催通知、来賓返信用ハガキ）			式 典：式辞、祝辞、はたちの主張、恩師からのメッセージ、記念撮影等					
	手数料（クリーニング手数料）			記念行事：小西梢恵氏 講話（京丹後市出身、ICT支援員）					
	○使用料及び賃借料		204千円	EASE（丹後吹奏楽団）によるオープニング演奏					
	京都府丹後文化会館使用料（準備、当日）			企画委員：司会、アトラクションの企画運営（フォトブースの設置、抽選会）					
				成果・課題	○成人年齢が18歳に引き下げとなったが、本市では高校卒業後一定の社会経験を積んだタイミングで家族や旧友、地域社会とのつながりをより感じることができる20歳を対象に「はたちを祝う式典」として開催した。 ○式典対象者の中から企画委員を募り、応募のあった8人が企画委員として式典内容について企画・立案し、自分たちが手作りの式典を演出することにより、充実した「はたちを祝う式典」を開催することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,112千円		1,112千円	0千円	100.0 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 青少年教育事業					1,219千円		
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 1,112千円						
目的	本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○児童合唱団補助金 212千円 音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心をはぐくむ活動を支援 補助金 大宮：94千円、網野：35千円、久美浜：83千円			○地域子ども教室活動補助金 500千円 地域の中で子どもたちが健やかに成長できる安全な場所を確保するとともに、地域全体で子どもを守り育てる活動を支援 補助金 100千円×5団体 対象地域 新山ひこばえの集い（峰山町荒山区） ブーフ・まむ（大宮町善王寺区） 久美浜二区子ども広場（久美浜町二区） 土曜お楽しみ会（久美浜町川上・海部・佐濃地区） チャレンジ教室（久美浜町神野地区）					
	○京丹後市青少年健全育成会補助金 400千円 家庭、地域社会、学校等関係団体と行政が連携・協力し、青少年の健全育成に資する活動・地域づくりを支援 ◇あいさつ運動 （開催場所：市内中学校、高等学校 10か所）（参加人数延べ434人） ◇夏祭りパトロール （開催場所：丹後、網野、久美浜 3か所）（参加人数延べ71人） ◇青少年体験事業 カヌー体験教室（15人）、親子でおさかな料理教室（23人）、バルーンアート・ジャグリング体験（80人）、パラスポーツ体験会（65人） ◇講演会（教育フォーラム共催）（270人） ◇総会、研修会（30人） ◇たよりの発行（京丹後市内全戸配布）			成果・課題	○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○教育フォーラムを学校教育課と共催し、教育委員会が目指している方向性などを理解していただける機会とした。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的で実効性のある青少年教育事業を推進する必要がある。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	1,244千円		1,246千円	2千円	99.8 %			
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	04 家庭教育事業					1,400千円			
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業補助金（2/3）					581千円	
目的		全ての教育の出発点である家庭教育を推進するため、子どもの発達段階に即した学習及び交流機会の充実に努めるとともに、PTA活動を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○家庭教育支援チーム事業			○家庭教育支援チーム事業						376千円
	子育ての悩みや不安を抱える親への子育て支援、学習機会の充実を図るため、子育て経験者や専門的知識・経験を持つ者などで「家庭教育支援チーム」を組織し、子育て交流会などの支援活動を行う。			子育て交流会等ファシリテーター謝金						376千円
				各地域公民館に家庭教育支援チーム（6チーム）、子育てサポーター（49人）を配置						
				○子育て講座等の実施						502千円
				※乳幼児講座3回、子育て（学童・思春期）講座5回、親子体操教室16回						
				・子育て講座等講師謝金						112千円
				・親子体操教室講師謝金						90千円
				・消耗品等事務費						300千円
				○京丹後市PTA協議会補助金						366千円
				市研究大会の開催、各種研修会の参加、安全会掛金等への助成						
	○子育て講座			○子どもの発達段階に応じて、子育てについて学ぶ機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、基礎的な生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。						
				○乳幼児とその保護者、中学生、高校生、子育てサポーターの異世代間交流の中で、命の尊さを学ぶ機会となった。						
				○課題を関係機関と情報共有し、より効果的な学習会等の企画・推進する必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	31,876千円		32,173千円	297千円	99.0 %			
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	05 文化芸術事業					32,460千円			
まちづくり 27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な 財 源	国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)			1,181千円		
				府補	きょうと地域連携交付金			640千円		
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			1,242千円		
目的	令和4年度に策定した「文化芸術振興計画」に基づき、誰もが文化芸術に親しみ、人が輝き、豊かで活力ある生活が送れるよう、市、地域住民、関係団体等が相互に連携し、一体となって文化芸術によるまちづくりを推進するため、各種文化芸術活動の支援を行う。									
主要な 事務・ 事業の 概要	○文化芸術振興審議会（2回）		166千円		○京丹後アートフェスティバル開催経費					2,045千円
	・委員報酬（9人）、アドバイザー謝金（1人）		148千円		市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供（令和7年9月～12月開催）					
	・委員費用弁償		18千円		・講師謝金					235千円
	○文化芸術のまちづくり推進会議（4回）		115千円		・消耗品費、燃料費					278千円
	・委員謝金（15人）、アドバイザー謝金（2人）		108千円		・印刷製本費					178千円
	・アドバイザー費用弁償（1人）		7千円		・会場設営委託料					261千円
	○おとまち響プロジェクト		128千円		・パンフレット等政策委託料					1,049千円
	・ピアノ調律手数料、楽器運搬手数料		128千円		・写真撮影業務委託料					44千円
	○丹後文化芸術祭実行委員会補助金		1,040千円		○中丸三千繪&秋川雅史 プレミアムデュオ・リサイタル					3千円
	北部2市2町と丹後文化事業団で設置する実行委員会が、展示会や発表会を開催する経費に対する補助金				・交通整理業務委託料					3千円
成果・ 課題	○丹後文化事業団運営費補助金		24,724千円		○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。 ○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進するために発足した京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議で、文化芸術によるまちづくりを具体的に進めるための検討を行った。 ○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等に対して、持続可能な運営が可能となるよう支援していく必要がある。					
	文化事業団運営経費、人件費、施設管理費等に対する補助金									
	○京丹後市文化協会活動補助金		3,500千円							
	各種文化振興事業及び事務局員賃金に対する補助金									
	○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金		155千円							
	障害者等によるアート作品の発表の場を創出する事業に対する補助金									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	96千円		103千円	7千円	93.2 %		
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額		
	事業	06 人権教育事業					165千円	課	生涯学習課
まちづくり 27の施策	17 一人ひとりの人権と多様性を尊重するまち	府補 人権問題啓発事業費補助金（1/2） 33千円							
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題について、正しい理解と認識を深めるための学習機会の提供などを通じ、人権教育を推進する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○人権教育研究京丹後市大会の開催経費			80千円					
	・講師謝金		75千円						
	・消耗品費（資料用紙等）		5千円						
	【人権教育研究京丹後市大会（R7.8.21） 参加者：254人】 講演 「誰もが『自分』を生きる力を～人権が尊重される多様性社会を目指して～」 講師 公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任 三木 幸美 氏 （会場：アグリセンター大宮）								
主要な事務・事業の概要	○その他経費（消耗品費）		16千円						
	（参考）視覚・聴覚障害者交流研修会の開催								
	【視覚障害者交流研修会（R7.6.26） 参加者：18人】 「盲導犬との生活体験談」、「ウクレレ音楽療法」								
	【聴覚障害者交流研修会（R7.10.24） 参加者：11人】 「フレイル予防でいきいき長寿」、「苔玉作り体験」								
成果・課題			○人権教育研究京丹後市大会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。 ○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう啓発活動だけでなく、学習の機会を充実させる必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	28,237千円		28,896千円	659千円	97.7 %			
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	02 地域公民館管理運営事業					30,161千円			
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源	使用料	峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館使用料				1,754千円	
目的	社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。			繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金				126千円	
				諸収入	地域公民館光熱水費負担金				168千円	
				諸収入	社会教育事業等参加料				1,938千円	
主要な事務・事業の概要	○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報		2,209千円		＜主な公民館事業＞ ※ 参加者数は延べ人数					
	・報償費（講師謝金） ・旅費（費用弁償、普通旅費） ・需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） ・役務費（手数料） ・委託料（バス運転委託料） ・使用料及び賃借料（会場借上料、有料道路通行料）	1,998千円		事業種別	事業・講座名		回数	参加者数	実施額	
		合同講座	初めての有機野菜づくり講座		1回	87人	26千円			
			有機野菜づくりの基本を学びます		1回	69人	37千円			
			AIの基本を学ぼう		1回	103人	63千円			
		青少年教育	夏休み子ども教室(峰山・大宮・弥栄・久美浜)		6回	128人	22千円			
			網野町ウイークエンド事業(網野)		9回	232人	6千円			
	たんごふるさと探検隊		3回	20人	12千円					
	○地域公民館施設等維持管理経費		25,922千円		＜貸館施設の利用状況＞					
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） ・役務費（通信運搬費、手数料） ・委託料（施設管理、施設清掃、宿日直ほか） ・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料） ・備品購入費（蓄圧式粉末消火器 23本）	14,116千円		区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費			
		313千円		峰山地域公民館	2,685回	36,580 人	9,852千円			
		11,083千円		丹後地域公民館	654回	12,962 人	8,021千円			
		269千円		弥栄地域公民館	1,006回	19,528 人	7,460千円			
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）		269千円		成果・課題	○幅広い世代の市民を対象に多様な分野の学習機会を提供することで、充実した社会教育活動を推進することができた。 ○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的に修繕を実施する必要がある。				
	○峰山地域公民館自転車小屋撤去工事		106千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	5,988千円		6,347千円	359千円	94.3 %		
	目	03 公民館費					(参考)繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	02 地域公民館管理運営事業（繰越）					6,347千円		
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源	市債 社会教育施設整備事業債（合併特例債） 5,600千円					
目的	峰山地域公民館のトイレ洋式化改修工事を行い、施設利用者の利便性の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○委託料 ・工事設計監理業務		957千円 957千円						
	○工事請負費 ・峰山地域公民館トイレ洋式化工事		5,031千円 5,031千円						
			成果・課題	トイレの洋式化工事を行うことで、施設利用者の利便性向上に寄与した。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																			
	項	04 社会教育費	1,506千円		1,561千円	55千円	96.4 %																					
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																			
	事業	03 地区公民館管理運営事業					1,507千円																					
まちづくり 27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な 財 源	諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 223千円																								
目的	生涯学習活動及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに適切に維持、管理運営する。																											
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費 1,506千円			＜利用状況＞																								
	・網野地区公民館 1,419千円 需用費（燃料費、光熱水費、修繕料） 747千円 役務費（通信運搬費、アスベスト分析等検査手数料） 151千円 委託料（管理業務、消防設備等保守点検業務） 517千円 使用料及び賃借料（ガス警報器使用料） 4千円 ・新庄地区公民館 87千円 需用費（燃料費、光熱水費） 85千円 役務費（し尿汲取手数料） 2千円			<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>大広間</td><td>114回</td><td>3,199人</td></tr><tr><td>大会議室・小会議室</td><td>150回</td><td>2,692人</td></tr><tr><td>公民館会議室</td><td>12回</td><td>148人</td></tr><tr><td>和 室</td><td>105回</td><td>882人</td></tr><tr><td>調理室</td><td>4回</td><td>90人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>385回</td><td>7,011人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	大広間	114回	3,199人	大会議室・小会議室	150回	2,692人	公民館会議室	12回	148人	和 室	105回	882人	調理室	4回	90人	合 計	385回
区 分	利用回数	延べ利用者数																										
大広間	114回	3,199人																										
大会議室・小会議室	150回	2,692人																										
公民館会議室	12回	148人																										
和 室	105回	882人																										
調理室	4回	90人																										
合 計	385回	7,011人																										
				成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら検討を進めていく必要がある。																							

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	41,905千円		42,261千円	356千円	99.1 %		
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 公民館一般経費					41,818千円		
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的		地域公民館配置の会計年度任用職員任用経費及び公民館運営に係る事務局経費							
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（地域公民館：12人） （社会教育指導員 6人、事務補助員 6人）		41,054千円						
	○地域公民館配置公用車（6台）の維持管理経費		681千円						
	・ 公用車燃料費、修繕料		510千円						
	・ 登録手数料、損害保険料、廃車手数料他		128千円						
	・ 自動車重量税		43千円						
	○京都府公民館連絡協議会分担金		32千円						
	○AED借上料（峰山・丹後地域公民館）		120千円						
○その他経費（消耗品費）		18千円		成果・課題	○市内6地域公民館の運営について、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人の3人体制により、適正に運営することができた。 ○研修を通じた公民館職員の資質向上、及び情報共有による各地域公民館活動の更なる充実を図る必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	99,449千円		99,556千円	107千円	99.8 %		
	目	04 図書館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 図書館管理運営事業					110,184千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源	国補	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)			7,909千円	
				寄附金	ふるさと応援寄附金			40千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金			5,000千円	
				繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			7,908千円	
目的	生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。 また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種行事等を企画・運営する。		繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			7,908千円		
			諸収入	平井嘉一郎文庫事業協賛金			300千円		
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬等（委員10人、協議会6回）		164千円		＜利用状況等＞				
	○市立図書館（2館4室）の管理運営費		83,468千円		区 分	蔵書数	年間貸出点数	（個人貸出点数）	年間貸出者数
	・会計年度任用職員任用経費（常勤17人、代行12人）		68,858千円		峰山図書館	83,431点	61,312点	43,220点	10,472人
	・図書購入費（AV資料含む）		6,061千円		あみの図書館	108,304点	82,005点	63,516点	14,816人
	・雑誌及び新聞購入費		1,348千円		大宮図書室	37,325点	54,316点	40,528点	8,495人
	・ブックスタート事業経費（244人に実施、絵本配付）		157千円		弥栄図書室	29,114点	29,201点	24,925点	5,843人
	・光熱水費（あみの図書館）		2,181千円		丹後図書室	30,442点	28,178点	21,448点	5,328人
	・Wi-Fiルーター通信料		209千円		久美浜図書室	26,604点	45,908点	36,040点	8,560人
	・図書システム利用料、保守委託料		3,252千円		（インターネット）	-	10,953点	10,953点	-
	・その他（図書装備用品、修繕料等）		1,402千円		合 計	315,220点	311,873点	240,630点	53,514人
○図書館システムマイナンバー連携経費		15,817千円		令和6年度	313,464点	326,783点	258,072点	57,104人	
				※市民1人当たりの年間貸出冊数:4.94冊 （個人貸出点数/R7年度末人口）					
				※（インターネット）：インターネットでの貸出延長処理					
成果・課題	＜主なサービス内容＞								
	・資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など ・閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス） ・図書館相互協力・おはなし会等の行事開催・広報活動 ・学校等との連携による読書推進事業・読み聞かせボランティアの活用など		○計画通り行事を実施し市民に対する読書推進を図ることができた。 ○図書館端末及びシステムの更新を行い、新しくマイナンバーカード連携サービスを始め、サービスの向上を図った。 ○貸出冊数、図書館行事への参加者数が減少傾向にあるため、引き続きサービス等について周知、工夫に努める必要がある。 ○市立図書館（2館）、図書室（4室）の運営について、ニーズ把握に努め、今後の対応を検討していく必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	67,745千円		84,656千円	16,911千円	80.0 %		
	目	04 図書館費					(参考)繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	01 図書館管理運営事業（繰越）					84,656千円		
まちづくり 27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	市債 社会教育施設整備事業債（合併特例債） 64,300千円					
目的	故障したあみの図書館の空調設備の改修工事を行い、図書館を快適に利用できる環境整備を図る。								
主要な事務・事業の概要	○委託料 ・工事設計監理業務		1,377千円 1,377千円						
	○工事請負費 ・あみの図書館空調改修工事		66,368千円 66,368千円						
			成果・課題	あみの図書館の空調設備の改修により、快適な図書館環境を確保することができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	5,749千円		5,770千円	21千円	99.6 %			
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	01 郷土資料館管理運営事業					8,377千円			
まちづくり 27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	使用料	郷土資料館入館料				26千円	
				繰入金	文化財保存活用基金繰入金				2,770千円	
				市債	旧社会教育施設解体事業債（公共施設等適正管理推進事業債）				2,200千円	
目的	郷土資料館は、市内で収集を続けている民俗資料等を収蔵・調査・公開する資料館であり、来館者に本市の文化を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設として位置付けている。 資料館内外の収蔵資料の調査や整理を行うとともに、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて、郷土の歴史への関心を高める役割も果たす。									
主要な事務・事業の概要	○郷土資料館の維持管理、展示等に関する経費		1,634千円		【企画展示・イベント】					
	・維持管理経費		886千円		【入館者数・推移】 開館日数 約150日／年					
	（燃料、光熱水費、修繕料、通信費）				※R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため臨時休館期間あり					
	・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備）		201千円		※R7は展示室改修工事のため臨時休館（R8.1.22～1.31）					
	・施設警備委託料		86千円							
	・使用賃借料（コピー機借上料）		154千円							
	・ごみ持込処理手数料		5千円							
	・工事請負費（昇降口天窓閉塞）		302千円							
	○展示・保管等に関する経費（消耗品費）		254千円							
	○震災絵画展示に関する経費（工事請負費）		1,368千円							
	○成路収蔵庫解体に係る設計経費（委託料）		2,493千円		成果・課題	○民俗資料・典籍等の常設展示のほか、企画展示やイベント等を実施し、郷土の文化について広く知る機会を提供した。 ○震災絵画の展示のために、展示室の改修を行った。 ○市内に分散している旧6町分の民具等の保管について、計画的に整理・集約等を行う必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	17,978千円		18,124千円	146千円	99.1 %		
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	02 古代の里資料館管理運営事業					17,906千円		
まちづくり27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進		主な財源	使用料	古代の里資料館入館料				664千円
目的	丹後古代の里資料館は、市内の考古、歴史資料を収蔵・調査・公開する資料館であり、来館者に本市の文化財を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設として位置付けている。 また、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向け、郷土の歴史の関心を高める役割も果たす。			繰入金	文化財保存活用基金繰入金				3,540千円
				諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料				3千円
				諸収入	古代の里資料館物品販売代金				32千円
			諸収入	古代の里資料館書籍販売代金				238千円	
主要な事務・事業の概要	○丹後古代の里資料館の維持管理、展示等に関する経費		17,653千円		【企画展示・イベント】				
	・会計年度任用職員任用経費 計4人：古代は2人／日（資料館業務員4人、郷土資料館と兼務）		14,175千円		期 間	企画展示・イベント等			人数
					R7.7～8	夏休み企画 「夏休みは資料館へ行こう！」			208人
	・維持管理経費（燃料、光熱水費、通信費）		1,490千円		R7.9～10	企画展示1「北但震災100年」			202人
	・施設保守管理経費（電気設備、浄化槽、消防設備）		455千円		R7.11.9	古代の里まつり			55人
	・施設警備委託料		74千円		R8.3～4	企画展示2「丹後震災の記憶」			383人
	・使用料及び賃借料（コピー機、土地借上げ等）		329千円		【入館者数・推移】 開館日数 約300日／年				
	・ごみ処理手数料等		11千円		R3	R4	R5	R6	R7
	・工事請負費（変圧器取替・トイレ換気扇取替工事）		1,119千円		1,579人	2,454人	2,424人	3,016人	3,100人
	○展示・保管等に関する経費		325千円		※R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため臨時休館期間あり				
・消耗品費		270千円		成果・課題	○資料を適切に保管・公開し、文化財の保存及び普及啓発を図った。 ○常設展示の他、企画展示、イベント等を実施し、本市の特色ある歴史文化をPRした。 ○開館から30年以上が経過し、施設や設備の計画的な更新が課題である。 ○令和9年度に予定している重要文化財湯舟坂2号墳出土品の里帰り展示などを行うことで、市民だけでなく観光客をも呼び込む施設としていく必要がある。				
・備品購入費（パッシブインジケーター1箱）		55千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局										
	項	04 社会教育費	10,731千円		10,740千円	9千円	99.9 %												
	目	05 資料館費					(参考)当初予算額												
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業						10,740千円	課	文化財保存活用課									
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	繰入金 文化財保存活用基金繰入金 20千円																
目的	琴引浜鳴き砂文化館は、本市の豊かな自然環境のシンボルである琴引浜の鳴き砂についての展示や様々な体験事業を実施し、普及啓発を行う施設である。 また、世界認定されている山陰海岸ジオパークの拠点施設としても位置付けており、他の関連地域や施設と連携し積極的な事業展開に努める。																		
主要な事務・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。		【入館者数・推移】 開館日数 約300日／年																
			<table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>6,443人</td><td>7,692人</td><td>7,936人</td><td>8,713人</td><td>10,114人</td></tr></table>					R3	R4	R5	R6	R7	6,443人	7,692人	7,936人	8,713人	10,114人	※R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館期間あり	
	R3	R4	R5	R6	R7														
	6,443人	7,692人	7,936人	8,713人	10,114人														
	○役務費 4千円																		
	・消火器リサイクル料 2千円																		
・廃消火器処理手数料 2千円																			
○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料 9,428千円																			
琴引浜の鳴り砂を守る会（令和3年度～令和7年度）																			
○使用料及び賃借料 1,279千円																			
・駐車場用地の一部にある民間土地借上料（518.81㎡）																			
・建物の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料																			
○備品購入費 20千円																			
・消火器購入（4本）																			
		成果・課題		○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、「丹後学」をはじめとする市内学校の見学対応を行うなど、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。 ○施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。															

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費	10,249千円		10,292千円	43千円	99.5 %																	
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業					12,064千円																	
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	使用料	公有財産使用料				56千円															
目的	親子のふれあいや世代間の交流体験施設として生涯学習の機会を提供することにより、市民の生きがいづくり及び健康増進を図るため、峰山林業総合センター（木工体験施設）、いさなご工房（陶芸体験施設）、いさなごコート（屋根付ゲートボール場）を管理運営する。			使用料	峰山林業総合センター使用料				54千円															
				使用料	峰山いさなご工房使用料				322千円															
				使用料	峰山いさなごコート使用料				12千円															
				諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代				32千円															
				諸収入	太陽光発電余剰電力料				47千円															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費		7,043千円		＜利用状況＞ <table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用人数</td></tr><tr><td>峰山林業総合センター</td><td>124回</td><td>804人</td></tr><tr><td>いさなご工房</td><td>125回</td><td>368人</td></tr><tr><td>いさなごコート</td><td>380回</td><td>5,262人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>629回</td><td>6,434人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用人数	峰山林業総合センター	124回	804人	いさなご工房	125回	368人	いさなごコート	380回	5,262人	合 計	629回	6,434人
	区 分	利用回数	延べ利用人数																					
	峰山林業総合センター	124回	804人																					
	いさなご工房	125回	368人																					
	いさなごコート	380回	5,262人																					
	合 計	629回	6,434人																					
	・社会教育指導員 1人（令和7年9月末退職）																							
	・作業員 2人（令和7年9月まで2人、10月以降1人）																							
	○管理運営経費		3,206千円																					
・需用費		2,444千円																						
(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料)																								
・役務費		118千円																						
(通信運搬費、消火器リサイクル料、浄化槽法定検査手数料、廃消火器処理手数料)																								
・委託料		422千円																						
(浄化槽維持管理委託料、消防設備等保守点検委託料)																								
・使用料及び賃借料（機械器具借上料、テレビ受信料）		73千円		成果・課題	○施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。 ○施設をより有効な活用を図るため、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。																			
・備品購入費（ノートパソコン1台、消火器3本）		149千円																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	16,092千円		16,193千円	101千円	99.3 %			
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	02 マスターズビルレッジ 管理運営事業					16,133千円			
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料			812千円		
				使用料	大宮ふれあいｽﾎﾟｰﾂ広場使用料			34千円		
				諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入			2千円		
目的	活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいつくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房（陶芸、染色体験施設）及びふれあいｽﾎﾟｰﾂ広場等を適切に維持、管理運営する。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費		10,901千円		＜利用状況＞					
	・事務補助員 2人（令和7年9月まで2人、10月以降0人） ・作業員 4人									
	○施設管理運営経費		5,191千円							
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等）		2,517千円							
	・役務費（通信運搬費、ごみ持込処理手数料）		135千円							
	・委託料（自家用電気工作物保安管理業務、草刈業務等）		1,141千円							
	・使用料及び賃借料（ガス警報器使用料、機械器具借上料）		63千円							
	・工事請負費（消防用設備修繕・遊具撤去）		1,128千円							
	・備品購入費（ノートパソコン等）		207千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,288千円		1,311千円	23千円	98.2 %		課
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額		
	事業	03 たちばな会館管理運営事業					1,251千円		
まちづくり 27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	諸収入 たちばな会館光熱水費負担金 340千円					
目的	網野町橘地区における生涯学習・コミュニティの拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、適切に維持、管理運営する。								
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費		1,288千円						
	・需用費（燃料費、光熱水費、修繕料）		749千円						
	・役務費（通信運搬費）		32千円						
	・委託料（会館管理業務、消防設備等保守点検業務）		507千円						
	＜利用状況＞								
	区 分	利用回数	延べ利用者数						
	会議室	25 回	165人						
	大会議室	73 回	743人						
	料理実習室	21 回	102人						
和室1	62 回	437人							
和室2									
多目的ホール	182 回	2,638人							
合 計	363 回	4,085人							
成果・課題	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な地域活動を促進することができた。 ○施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,417千円		1,437千円	20千円	98.6 %		
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額		
	事業	04 網野教育会館管理運営事業					1,330千円	課	生涯学習課
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実							
目的	社会教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、適切に維持、管理運営する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費		1,417千円		＜利用状況＞				
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）		655千円		表				
	・役務費		47千円		表				
	（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、家電リサイクル料）				表				
	・委託料		703千円		表				
	（浄化槽維持管理業務、消防設備等保守点検業務、防火対象物定期点検報告業務、会館管理業務）				表				
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料）		12千円		表				
					表				
					表				
					表				
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					
				表					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	85千円		112千円	27千円	75.8 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					140千円		
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進		主な財源	繰入金 文化財保存活用基金繰入金 80千円					
目的	市内文化財の調査研究を行い、その指定等について諮問を行う附属機関である文化財保護審議会で、文化財の保全や活用について調査・審議を行う。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費 70千円 文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人） ※別途自由参加の文化財見学会を2回実施。 ・報酬 （半日×2回、4千円×延べ15人） 60千円 ・費用弁償 10千円								
	○両丹文化財保護連絡協議会開催経費 15千円 開催は北部市町の輪番制、令和7年度は舞鶴市で開催 場 所：舞鶴赤れんがパーク 赤れんが2号棟 参加者：京都府北部の各市町の文化財に携わる委員及び担当職員 テーマ：「近現代における歴史文化遺産の保存と活用」 （令和7年11月10日） 北部市町の参加者による事例発表・情報交換等を実施するとともに、福知山公立大学小山元孝氏の専門講義により、近現代の古文書の保存と活用について知見を深めた。 ・報酬 （1日、7千円×2人） 14千円 ・費用弁償 1千円			成果・課題	○文化財保護審議会において、意見を聴取し検討を深めることで今年度新たに3件の市指定文化財を指定することができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会に参加、各市町で事例発表等を行い、京都府北部の文化財のうち特に近現代の事例や取り巻く課題について共有することができた。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	19,752千円		19,765千円	13千円	99.9 %			
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	02 指定文化財等管理事業				18,195千円				
まちづくり 27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な 財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（65/100）			3,162千円		
				寄附金	ふるさと応援寄附金			1,000千円		
				繰入金	文化財保存活用基金繰入金			14,750千円		
				諸収入	市有建物損害共済金			98千円		
目的	市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、所有者に対し修理や保全に係る補助金を交付するとともに、市所有の重要文化財等の保存処理及び修繕を実施するほか、市内の指定文化財等を適切に維持管理し、指定文化財等の普及啓発を図る。 また、令和6年度の丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会の結果を踏まえ、丹後震災記念館の耐震診断等調査を行う。									
主要な 事務・事業の概要	○丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業		6,778千円		○指定文化財等維持管理費					1,390千円
	検討委員会や耐震診断・工法調査等により基本計画を取りまとめた。				・国府市指定史跡等草刈委託料（神明山古墳ほか4件）					495千円
	・耐震化・利活用検討委員会委員謝金		128千円		・文化財施設環境美化委託料（竹野神社周辺ほか11件）					490千円
	（委員8人、オブザーバー4人、5回開催）				・丹後震災記念館光熱水費・消防設備等保守点検委託料					68千円
	・耐震化・利活用検討委員会委員費用弁償		143千円		・土地借上料（史跡、文化財看板設置土地借上料）					5千円
	・検討事業関係旅費（有料道路通行料）		9千円		・消耗品費（経塚古墳管理用除草剤）					5千円
	・丹後震災記念館耐震診断等調査費		6,152千円		・修繕料（浜詰復元住居、丹後震災記念館自火報）					286千円
	・丹後震災記念館窓ガラス修繕工事		346千円		・有料道路通行料（資料調査）					10千円
	○湯舟坂2号墳出土金属製品及び土器保存科学処理委託事業		6,251千円		・通信運搬費（丹後震災記念館電話料）					31千円
	・保存科学処理委託料		6,150千円		○丹後震災記念館絵画の補修事業					1,957千円
成果・課題	・普通旅費、有料道路通行料		81千円		・絵画修繕料及び展示用金具取付					1,668千円
	・事務経費（消耗品費）		20千円		・運搬委託料					289千円
	○コウノトリ緊急対応関係経費		359千円		（伊藤快彦作の油絵3点の修復、3か年事業の3年目）					
	モニタリング監視員設置、個体識別のための足環装着を3回実施。				○文化財の保全のために修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。					
	○京丹後市指定文化財等補助事業		18件 3,017千円		○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行うことができた。					
	・京丹後市指定文化財等補助金		3,000千円		○丹後震災記念館の基本計画を取りまとめることができた。					
	・職員旅費、有料道路通行料		17千円		○湯舟坂2号墳出土品及び震災画の修理を完了した。					
	神社・寺院や覆屋等の修理、民俗芸能の道具の修理・新調などを支援。 ＜参考＞【令和6年度実績】19件、2,987千円				○文化財看板等の計画的な整備に努め、利便性向上と文化財の保護啓発を図るとともに、丹後震災記念館の今後についてより具体的な検討を行っていく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	1,914千円		1,918千円	4千円	99.7 %			
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	03 遺跡整備事業					1,084千円			
まちづくり27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 繰入金	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 文化財保存活用基金繰入金			466千円 1,410千円		
目的	市内に残る地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を、教育、観光、地域づくりの資源として有効に活用するために史跡整備を推進する。 国史跡網野鈔子山古墳について、古墳の周知と集客へつなげるため、令和7年4月に史跡整備完了記念イベント等を行う。									
主要な事務・事業の概要	○網野鈔子山古墳整備完了記念イベント関係経費		1,127千円	○史跡普及啓発経費						59千円
	・講師謝金（ワークショップ、パフォーマンス、トークイベント、デモガイド、司会アナウンス、太鼓パフォーマンス）		230千円	・神明山古墳「御墳印」作成印刷代						59千円
主要な事務・事業の概要	・燃料費（シャトルバス）		8千円	○環境整備関係経費						728千円
	・会場設営委託料		627千円	・網野鈔子山古墳葺石移設工事						728千円
	・仮設トイレ借上料		79千円							
	・施設使用料（記念品製作の施設使用）		66千円							
	・備品購入費（テント購入）		117千円							
	整備完了記念イベントを令和7年4月26日に行った。内容は、整備記念式のほか、活用デモイベントとしてワークショップ・物販・キッチンカー、太鼓・舞のパフォーマンス、トークイベントなど行った。 来場者：約1,000人									
				成果・課題	○網野鈔子山古墳について、整備が完了したことを受け、古墳の活用を図るための式典、デモイベントを実施し、市内外から約1,000人の来場をいただき、古墳の活用の一例を示すことができた。 ○デモイベントを盛況に終えることができたが、今後は地元の積極的な活用を促すための取り組みを継続的に進める必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	78,404千円		78,415千円	11千円	99.9 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)繰越予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業（繰越）					78,415千円		
まちづくり 27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）			29,004千円	
				市債	遺跡整備事業債（合併特例債）			46,300千円	
目的	地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を有効に活用するため、史跡整備を推進する。 国史跡網野銚子山古墳の保存・活用に向け、令和7年度は、6年度に引き続き、休憩施設建築、駐車場などの環境整備を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○網野銚子山古墳整備関係経費		78,404千円						
	・文化庁調査官指導旅費 ・整備事業報告書印刷製本費 ・工事監理委託料 ・ガイダンス施設建築工事（建築主体） ・ガイダンス施設建築工事（機械設備） ・ガイダンス施設パネル等設置工事 ・駐車場整備工事 ・銚子山古墳水路溝蓋設置工事		12千円 710千円 1,430千円 41,172千円 13,798千円 890千円 20,195千円 197千円						
					成果・課題	網野銚子山古墳について、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を実施することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,106千円		2,144千円	38千円	98.2 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	04 遺跡発掘調査等事業					2,144千円		
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進		主な 財源	国補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2）			1,000千円	
				府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）			500千円	
目的	市内に残る遺跡等の適正な保存・活用のため、開発に先立つ発掘調査を実施して開発事業との円滑な調整を図るとともに、発掘調査の成果をまとめる整理作業を実施し成果報告書を刊行する。								
主要な 事務・事業の 概要	○田村関遺跡（久美浜町関）発掘調査経費		2,106千円						
	・会計年度任用職員任用経費（作業員4人・整理員2人）		990千円						
	・旅費（調査旅費・協議旅費）		11千円						
	・需用費（消耗品、燃料費）		194千円						
	・報告書印刷製本費（300部）		113千円						
	・委託料（実測図等作成委託料）		151千円						
	・使用賃借料（発電機・水中ポンプ借上料）		49千円						
	・使用賃借料（重機借上料）		512千円						
	・使用賃借料（パソコン借上料）		86千円						
	＜調査概要＞				成果・課題	○府営ほ場整備の事前調査として田村関遺跡の追加調査を行い、周知の遺跡として登録されている範囲の外側からの土器の出土を得たことで、未知の遺跡の存在が明らかになった。 ○今後、ほ場整備計画との調整を行い、埋蔵文化財の保護を図っていく。			
	令和5年度の調査により土器の出土のあった遺跡北側の再調査。明瞭な遺構は確認できなかったが、弥生～中世の土器の出土があり、遺跡が存在するものと考えられる結果となった。								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,947千円		1,978千円	31千円	98.4 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	05 史跡等維持管理事業					2,003千円		
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進		主な財源	繰入金 文化財保存活用基金繰入金 1,940千円					
目的	史跡整備を行った網野銚子山古墳について、史跡及び付属するガイダンス施設の維持管理を行う。								
主要な事務・事業の概要	○網野銚子山古墳及びガイダンス施設維持管理経費		1,947千円						
	・消耗品費（ガイダンス施設合鍵代）		2千円						
	・光熱水費（ガイダンス施設電気代）		201千円						
	・ガイダンス施設管理委託料		146千円						
	・ガイダンス施設浄化槽維持管理委託料		546千円						
	・網野銚子山古墳草刈委託料		1,052千円						

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	462千円		469千円	7千円	98.5 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額		
	事業	06 地域文化財総合活用推進事業						1,181千円	課
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	繰入金 文化財保存活用基金繰入金 460千円						
目的	文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を運用するほか、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理などを行う。								
主要な事務・事業の概要	○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人）		90千円	○「京丹後歴史文化めぐりマップ」運用経費 284千円					
	・協議会委員謝金 2回開催、4千円×延べ20人		80千円	京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップ（令和5年度製作）のサーバー使用料					
	・委員費用弁償		10千円						
	○京丹後市市民遺産会議（委員5人）		88千円						
	・市民遺産会議委員謝金		33千円						
	2回開催、4千円×延べ3人、7千円×延べ3人								
	・委員費用弁償		7千円						
	・消耗品費（認定証用紙）		1千円						
	・市民遺産補助金 1件		47千円						
	認定市民遺産に関してその保存活用に係る費用を補助するもの								
	補助対象者：市民遺産の所有者等								
	補助率：補助対象経費の2分の1以内（上限5万円）								
				成果・課題	○推進協議会や市民遺産会議の開催、市民遺産1件の認定、市民遺産補助金の創設、京丹後歴史文化めぐりマップの運用により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。 ○現在の文化財保存活用地域計画が令和9年度をもって期間を終えるため、令和8・9年度において次期計画を策定していくことが必要である。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	74,027千円		74,027千円	0千円	100.0 %			
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課	
	事業	07 文化財保存活用基金					94千円			
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進		主な財源	財産収入	文化財保存活用基金利子収入				121千円	
				寄附金	ふるさと応援寄附金				73,906千円	
目的	京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、本市の貴重な文化財の保存及び活用を進めることを目的に、「文化財保存活用基金」に積み立てを行うもの。									
主要な事務・事業の概要	京丹後市文化財保存活用基金にふるさと応援寄附金からの積み立てを行った。									
	○文化財保存活用基金積立金		74,027千円							
			(単位：千円)							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	738千円		761千円	23千円	96.9 %		
	目	07 文化財保存活用費					(参考)当初予算額		
	事業	50 文化財保存活用一般経費					228千円	課	文化財保存活用課
まちづくり 27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進	主な財源	繰入金	文化財保存活用基金繰入金	630千円				
			諸収入	市有建物損害共済金	30千円				
目的	文化財の保存と活用を図るため、資料館以外に所管している文化財の収蔵施設等の維持管理を適切に行うとともに、各種文化財保護関係団体の活動を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所） 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土品収蔵庫（網野町網野） 旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重） 高嶋寮（丹後町上野） ・光熱水費 ・工事請負費（十楽収蔵庫大雪屋根被害） ・修繕料（十楽収蔵庫シャッター、下岡城跡看板） ・消耗品費		679千円	○文化財関係加盟団体負担金 ・全国史跡整備市町村協議会・近畿地区協議会 ○事務経費（協議有料道路通行料）					
				50千円 50千円 9千円					
				成果・課題	○文化財保存活用事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保存と活用を図ることができた。 ○旧6町からの文化財収蔵施設の集約を今後進めていく必要がある。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																										
	項	05 保健体育費	17,648千円		18,548千円	900千円	95.1 %																																												
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）																																										
	事業	01 社会体育団体育成事業					18,548千円																																												
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 3,402千円																																															
目的	市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。 また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。																																																		
主要な事務・事業の概要	○（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金 14,246千円 ・加盟団体数：18団体（2,245人） ※令和8年3月末現在 ・各種事業の実施 スキルアップ研修会の開催（令和7年8月1日、令和8年2月27日） 各競技団体の活動支援（年間） スポーツ講演会の実施（令和7年8月18日） ・市主催事業への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝） ・広報紙の発行（年3回）		＜京丹後市青少年スポーツ協会 種目別加盟団体数＞ <table><tr><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td><td>種 目</td><td>団体数</td></tr><tr><td>野 球</td><td>9</td><td>剣 道</td><td>4</td><td>新体操</td><td>1</td></tr><tr><td>バレーボール</td><td>9</td><td>柔 道</td><td>1</td><td>体 操</td><td>1</td></tr><tr><td>バスケットボール</td><td>6</td><td>硬式テニス</td><td>2</td><td>卓 球</td><td>1</td></tr><tr><td>サッカー</td><td>5</td><td>ソフトテニス</td><td>2</td><td>複合(複数種目)</td><td>1</td></tr><tr><td>空手道</td><td>6</td><td>バドミントン</td><td>1</td><td>カヌー</td><td>1</td></tr><tr><td>陸 上</td><td>5</td><td>少林寺拳法</td><td>1</td><td>レスリング</td><td>1</td></tr></table>							種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数	野 球	9	剣 道	4	新体操	1	バレーボール	9	柔 道	1	体 操	1	バスケットボール	6	硬式テニス	2	卓 球	1	サッカー	5	ソフトテニス	2	複合(複数種目)	1	空手道	6	バドミントン	1	カヌー	1	陸 上	5	少林寺拳法	1	レスリング	1
	種 目	団体数	種 目	団体数	種 目	団体数																																													
	野 球	9	剣 道	4	新体操	1																																													
バレーボール	9	柔 道	1	体 操	1																																														
バスケットボール	6	硬式テニス	2	卓 球	1																																														
サッカー	5	ソフトテニス	2	複合(複数種目)	1																																														
空手道	6	バドミントン	1	カヌー	1																																														
陸 上	5	少林寺拳法	1	レスリング	1																																														
○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金 3,402千円 ・加盟団体数：57団体（児童生徒数：1,299人、指導者数：312人） ・事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行		合計： 57団体 ※複合(複数種目)：年間を通じて、さまざまな種目のスポーツを実施する団体																																																	
成果・課題	○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 ○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。 ○スポーツ協会では、令和5年4月の法人化以降、持続可能な組織運営体制の確立が課題となっているため、安定した事務局体制の構築と、事務局長候補の確保・育成を進めていく必要がある。																																																		

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	4,272千円		4,354千円	82千円	98.1 %		
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	50 保健体育総務一般経費					4,160千円		
まちづくり 27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的	スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。 また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費		89千円						
	・審議会委員報酬：12人、開催回数：2回		76千円						
	・費用弁償		13千円						
	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室事務補助：1人）		4,073千円						
○社会体育に関する事務経費		110千円							
・全国大会等出場懸垂幕作成経費									
				成果・課題	○「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の進捗状況の管理や審議を行い、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備やスポーツ活動の推進を図ることができた。 ○現行計画が令和9年度までとなっていることから、目標値の達成に向けた施策を推進するとともに、次期計画の策定に向けた取組を進める。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,045千円		3,059千円	14千円	99.5 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,148千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実	主な財源						
目的		市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。 また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。							
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（50千円×49人）		2,450千円		＜活動内容＞ ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間4回、延べ95人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレー、モルックほか） 年間91回、延べ950人参加 ・市内モルック大会 （5月17日 8チーム、11月24日 16チーム） ・地区活動やPTA行事などにおけるスポーツ指導 （ノルディック・ウォーキング、モルック、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		387千円						
	○需用費（消耗品費等） ・機関誌購読料、広報用カラーペーパー		17千円						
	○役務費（スポーツ安全保険料49人分）		88千円						
	○委託料（バス運転委託料） ・京都府スポーツ推進委員研究大会（亀岡市）		28千円		成果・課題	○ノルディック・ウォーキング体験会、ビーチボールバレー、モルックなどのニュースポーツの普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、新たなコミュニティ組織と連携する必要がある。			
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		19千円						
	○負担金、補助及び交付金		56千円						
	・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金		44千円						
・全国スポーツ推進委員研究協議会負担金		4千円							
・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		8千円							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																															
	項	05 保健体育費	5,596千円		5,616千円	20千円	99.6 %																																	
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）																															
	事業	02 地域スポーツ推進事業					5,616千円																																	
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			2,520千円																																
目的	市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供する。 また、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大を図るとともに、スポーツを通じた交流機会を提供する。			繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金			282千円																																
				諸収入	スポーツ大会参加料			16千円																																
主要な事務・事業の概要	○報償費		41千円		＜大会等実施状況＞																																			
	(北近畿中学生ソフトテニス大会、はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等)																																							
	○需用費（消耗品費、食糧費）		201千円		<table><tr><th>大会名</th><th>開催日</th><th>参加者等</th></tr><tr><td>京丹後市総合スポーツ大会</td><td>5/11～2/22</td><td>14競技、1,123人</td></tr><tr><td>ジュニアカヌースプリント春季大会</td><td>5/24(土)</td><td>43人</td></tr><tr><td>市長杯争奪中学校野球大会</td><td>5/31(土)、6/1(日)</td><td>市内5校</td></tr><tr><td>北近畿中学生ソフトテニス大会</td><td>6/1(日)</td><td>7市2町16校 67ペア</td></tr><tr><td>京丹後市民陸上記録会</td><td>7/6(日)</td><td>134人</td></tr><tr><td>野村克也杯学童野球大会</td><td>8/1～8/16</td><td>18チーム、350人</td></tr><tr><td>京都府民総合体育大会</td><td>8月～2月</td><td>14競技参加、入賞6競技</td></tr><tr><td>ジュニアカヌースプリント秋季大会</td><td>10/18(土)</td><td>38人</td></tr><tr><td>はしうど杯卓球選手権大会</td><td>12/6(土)</td><td>2市1町、8校、82人</td></tr></table>						大会名	開催日	参加者等	京丹後市総合スポーツ大会	5/11～2/22	14競技、1,123人	ジュニアカヌースプリント春季大会	5/24(土)	43人	市長杯争奪中学校野球大会	5/31(土)、6/1(日)	市内5校	北近畿中学生ソフトテニス大会	6/1(日)	7市2町16校 67ペア	京丹後市民陸上記録会	7/6(日)	134人	野村克也杯学童野球大会	8/1～8/16	18チーム、350人	京都府民総合体育大会	8月～2月	14競技参加、入賞6競技	ジュニアカヌースプリント秋季大会	10/18(土)	38人	はしうど杯卓球選手権大会	12/6(土)	2市1町、8校、82人
	大会名	開催日	参加者等																																					
	京丹後市総合スポーツ大会	5/11～2/22	14競技、1,123人																																					
	ジュニアカヌースプリント春季大会	5/24(土)	43人																																					
	市長杯争奪中学校野球大会	5/31(土)、6/1(日)	市内5校																																					
	北近畿中学生ソフトテニス大会	6/1(日)	7市2町16校 67ペア																																					
	京丹後市民陸上記録会	7/6(日)	134人																																					
	野村克也杯学童野球大会	8/1～8/16	18チーム、350人																																					
	京都府民総合体育大会	8月～2月	14競技参加、入賞6競技																																					
	ジュニアカヌースプリント秋季大会	10/18(土)	38人																																					
	はしうど杯卓球選手権大会	12/6(土)	2市1町、8校、82人																																					
	○委託料		1,324千円																																					
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円																																					
・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		924千円																																						
・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円																																						
○使用料及び賃借料（有料道路通行料）		10千円																																						
○補助金		4,020千円																																						
・京都府民総合体育大会派遣費補助金		1,500千円																																						
・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		2,190千円																																						
・野村克也杯学童野球大会開催補助金		330千円																																						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	4,839千円		4,872千円	33千円	99.3 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）	
	事業	03 スポーツイベント推進事業					3,466千円			
まちづくり27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				860千円		
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。		寄附金	ふるさと応援寄附金				1,706千円		
			諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金）				1,120千円		
主要な事務・事業の概要	＜スポーツイベントの実施状況等＞									
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算（負担金・補助金）執行内容				
	京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/3(日)	久美浜湾	76チーム、870人	実行委員会への補助金		1,400千円		
	第23回丹後100kmウルトラマラソン		9/14(日)	京丹後市内	2,924人	実行委員会への補助金		128千円		
						バス運転委託料		822千円		
	丹後大学駅伝（第87回関西学生対校駅伝競走大会）		11/15(土)	丹後地域	23チーム、393人	後援会への負担金		600千円		
						大会特別企画事業補助金		1,706千円		
	パラスポーツ体験会		12/21(日)	大宮	50人	講師謝金（4人分）		127千円		
	合 計					4,237人			4,783千円	
	○その他経費		56 千円							
・消耗品費		29 千円								
・燃料費（丹後大学駅伝）		27 千円								
成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第87回目を迎えた丹後大学駅伝では、前年度に続きガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、地上波でのテレビ放送も行われ、中継所やフィニッシュ地点では、小中学生による応援や吹奏楽で盛り上げ、丹後地域を広くPRすることができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	2,739千円		2,804千円	65千円	97.6 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）	
	事業	04 ワールドマスタースゲームズ 関西推進事業					2,893千円			
まちづくり 27の施策	21 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				650千円		
			諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金）				639千円		
目的	ワールドマスタースゲームズ関西（WMG）関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。									
主要な事務・事業の概要	○有料道路通行料		11千円	○SUPジャパンオープン補助金						760千円
	○WMG関西京都府実行委員会負担金		200千円	＜SUP2025ジャパンオープン＞ ・開催日：令和7年4月19日（土）、20日（日） ※19日（土）は、SUP無料体験会を実施 ・参加者数：65人 ※無料体験会 25人 ・会場：久美浜湾カヌー競技場						
主要な事務・事業の概要	○WMG関西京丹後市実行委員会運営補助金		468千円	○日本カヌーマラソン選手権大会運営補助金						1,300千円
	WMG2027関西の開催に向け、大会運営に必要な基盤整備を行うため、実行委員会の開催や、大会の周知・啓発に係る事業を対象			成果・課題 ○WMGプレ大会（SUP、カヌーマラソン）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 ○2027年5月に開催するWMG本大会の知名度の向上と機運醸成に向けた取組を展開していく必要がある。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	48,118千円		48,339千円	221千円	99.5 %			
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）	
	事業	01 体育施設管理運営事業				44,690千円				
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	使用料	社会体育施設使用料				1,552千円	
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。			使用料	公有財産使用料				76千円	
				諸収入	学校跡施設光熱水費利用負担金				1,190千円	
				諸収入	学校跡施設点検費用等負担金				98千円	
			諸収入	大宮社会体育館光熱水費利用負担金				70千円		
主要な事務・事業の概要	＜社会体育施設の維持管理経費＞		＜利用状況＞							
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）		27,945千円	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）						182件
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取、浄化槽法定検査手数料等）		672千円	大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）						502件
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）		15,898千円	大宮社会体育館						1,318件
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）		1,183千円	網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場）						552件
	○工事請負費		2,371千円	網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）						1,849件
	・大宮社会体育館休憩室エアコン設置工事		99千円	丹後社会体育館						339件
	・弥栄社会体育館休憩室エアコン設置工事		132千円	弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場）						1,504件
	・久美浜中央運動公園駐車場進入路拡幅工事		272千円	久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）						1,175件
	・網野体育センターアリーナリモコンリレー改修工事		1,868千円	その他体育施設（26施設）						5,575件
	○備品購入費（体育館用掃除機）		38千円	合 計（43施設）						12,996件
	○施設使用料返還金		11千円							
				成果・課題	○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、施設の見直し等について検討していく必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	40,679千円		57,272千円	16,593千円	71.0 %		
	目	03 体育施設費					(参考)繰越予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	01 体育施設管理運営事業（繰越）					57,272千円		
まちづくり 27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	市債 社会体育施設整備事業債（合併特例債） 38,400千円					
目的	社会体育館及び久美浜中央運動公園のトイレ改修工事を行い、社会体育施設の利用環境改善を図る。								
主要な事務・事業の概要	○工事監理委託料 3,958千円								
	・大宮、網野、丹後、弥栄社会体育館トイレ改修工事 3,300千円								
	・久美浜中央運動公園トイレ簡易水洗化工事 658千円								
	○使用料及び賃借料（仮設トイレ借上） 162千円								
	○工事請負費 36,559千円								
	・大宮社会体育館トイレ改修工事 7,365千円								
	・網野体育センタートイレ改修工事 10,695千円								
	・丹後社会体育館トイレ改修工事 5,327千円								
	・弥栄社会体育館トイレ改修工事 4,038千円								
	・久美浜中央運動公園トイレ簡易水洗化工事 7,139千円								
	・久美浜中央運動公園トイレ屋根塗装工事 1,995千円								
			成果・課題	社会体育館のトイレ洋式化及び久美浜中央運動公園のトイレ簡易水洗化等の施設利用環境の改善を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。					

予算科目	款	10 教育費						本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局			
	項	05 保健体育費						1,217千円	1,239千円	22千円	98.2 %					
	目	03 体育施設費									(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）			
	事業	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業									1,239千円					
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						主な財源	使用料	小学校施設使用料			201千円			
									使用料	中学校施設使用料			217千円			
目的		地域の身近な施設である学校体育施設を開放及び維持管理することにより、市民のレクリエーション活動や各種サークル活動、青少年スポーツ教室や各種スポーツ競技団体の活動等の促進を図る。														
主要な事務・事業の概要	＜利用状況＞（単位：施設・件）															
			峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	○需用費					1,207千円	
	小学校	体育館	施設数	4	2	4	2	1	3	16	・消耗品費（鍵ボックス、スペアキー）					25 千円
			利用件数	1,109	626	736	347	177	574	3,569	・印刷製本費（利用申請書）					77千円
		グラウンド	施設数	4	2	4	2	1	3	16	・修繕料（バスケットゴール、屋外照明設備修繕等）					478千円
			利用件数	617	236	558	142	220	51	1,824	【所管：教育総務課】					
		格技場	施設数			2				2	・消耗品費（陸上用踏切板等）					46千円
			利用件数			243				243	・修繕料（屋内照明灯取替等）					581千円
	中学校	体育館	施設数	2	1	1	1	1	1	7	○役務費					10千円
			利用件数	489	313	247	47	284	214	1,594	・ごみ持ち込み手数料					10千円
		グラウンド	施設数	1	1	1	1	1	1	6						
			利用件数	12	176	207	60	176	26	657						
		格技場	施設数		1	1	1	1	1	5						
			利用件数		156	85	246	301	101	889						
	合計			施設数 52			利用件数 8,776									
	(参考) 社会体育用開放施設 <全22校> 小学校（全16校） 中学校（全6校）															
										成果・課題	○施設の計画的な維持管理に努め、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として提供することにより、市民が楽しみ共につくるスポーツの街づくりに寄与した。 ○利用件数は高い水準で推移しているため、多くの市民に活用いただけている。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,434千円		2,736千円	302千円	88.9 %		
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	03 久美浜湾加-センター管理運営事業					2,896千円		
まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実		主な財源	使用料 加-センター使用料 450千円					
目的	豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○需用費		886千円						
	・消耗品費、燃料費、光熱水費		369千円						
	・修繕料		517千円						
	（ドラゴンカヌー船台、パドル、カタマラン、浮桟橋）								
	○役務費		96千円						
	・船舶検査手数料等		96千円						
	○委託料		1,133千円						
	・カヌーセンター管理業務		497千円						
	・消防設備等保守点検業務		66千円						
	・設備保守管理業務（浮桟橋、カタマラン）		570千円						
	○備品購入費（AED、消火器）		319千円		成果・課題	施設の適切な管理運営を行うとともに、全国大会の開催など、カヌーセンターを拠点として本市のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	46,961千円		47,350千円	389千円	99.1 %				
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	02 網野給食センター管理運営事業					51,491千円				
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源								
目的	児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため、小学校4校（網野北、網野南、島津、橘小学校）、網野中学校に栄養バランスのとれた給食を提供する。										
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費 （調理補助5人、事務補助1人、栄養士1人）		18,638千円		○施設設備維持管理委託料					10,087千円	
	○消耗品費・燃料費・水道光熱費 ・消耗品費 （大量調理訓練食材費、厨房用消耗品、ボイラー用資材等） ・燃料費（ガス代、配送車等燃料） ・光熱水費（電気代、水道代）		15,832千円 3,312千円 4,243千円 8,277千円		○新給食センター竣工式典運営委託料 式典実施日：令和7年4月4日（金）					187千円	
主要な事務・事業の概要	○自動車等修繕料（配送車3台、軽トラック1台、調理機器） ・車両点検及び車検修繕、配送車コンテナ修繕 ・調理機器修繕		1,484千円 1,447千円 37千円		○その他経費（通信運搬費、保険料、使用料及び賃借料等）					460千円	
	○検便検査、貯水槽検査等各種手数料		273千円		成果・課題	○給食センターの施設・設備を維持管理しながら、網野町域の小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することができた。 ○衛生管理の国際的手法「HACCP（ハサップ）」に対応し、アレルギー対応食も調理可能な新センターの運営開始により、安全で衛生的な給食づくり環境を整えることができた。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	281,319千円		282,040千円	721千円	99.7 %		
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 小学校給食管理運営事業					280,322千円		
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				40,475千円
				市債	小学校給食備品整備事業債（過疎債）				11,000千円
目的	児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。								
主要な事務・事業の概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。				アレルギー対応用食器・トレイ 90枚 473千円 食器、炊飯器の釜（高龍小・大宮第一小） 133千円				
	○給食調理 13,433千円				○学校栄養士協議会等負担金 25千円				
	・燃料費（ガス） 12,372千円								
	・修繕料（調理機器） 1,061千円				○学校給食材料費支援補助金 37,941千円				
	○給食調理業務委託料（網野地域を除く全12校） 217,668千円				保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。				
	峰山、いさなご、しんざん、長岡、大宮第一、大宮南、丹後、宇川、弥栄、久美浜、高龍、かぶと山小学校								
	○備品購入費 12,252千円								
	スチームオーブン（いさなご小・丹後小・久美小）3台 7,502千円				成果・課題	○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。			
	ガス回転釜（丹後小・高龍小） 2台 1,000千円					○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。			
	ガス立体炊飯器（峰山小） 1台 793千円					○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。			
消毒保管庫（いさなご小） 1台 1,286千円				○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで物価高騰による保護者負担を軽減できた。					
冷蔵庫（いさなご小） 1台 512千円									
牛乳保冷库（弥栄小） 1台 553千円									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局		
	項	05 保健体育費	112,412千円		112,628千円	216千円	99.8 %				
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課		
	事業	04 中学校給食管理運営事業					115,008千円				
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金			25,300千円			
				市債	中学校給食備品整備事業債（過疎債）			1,500千円			
目的	生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。 また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。										
主要な事務・事業の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。			○備品購入費						2,058千円	
				ガス回転釜（峰山中）1台						1,033千円	
				ガス立体炊飯器（大宮中）1台						500千円	
	○会計年度任用職員任用経費			2,260千円	アレルギー対応食器・トレイ 40枚						252千円
	・調理補助員：峰山中学校1人				食器（大宮中）						273千円
	○給食調理			6,828千円	○学校栄養士協議会等負担金						37千円
	・消耗品費			293千円							
	・燃料費（ガス）			5,877千円	○学校給食材料費支援補助金						25,303千円
	・修繕料（調理機器）			641千円	保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。						
	・手数料（包丁研磨）			17千円							
○給食調理業務委託料（4校）			75,926千円	成果・課題	○給食調理業務の民間委託を1校（大宮中）追加し、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。						
大宮、丹後、弥栄、久美浜中学校			○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。								
				○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。							
				○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで、物価高騰による保護者負担を軽減できた。							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	126,975千円		126,995千円	20千円	99.9 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	教育総務課	
	事業	05 学校給食センター施設整備事業					135,638千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源	国補	学校施設環境改善交付金（1/3）			39,390千円		
				市債	学校給食センター整備事業債（学校教育施設等整備事業債）			65,500千円		
目的	令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。									
主要な事務・事業の概要	○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事		123,055千円							
	・工事監理委託料		2,088千円							
	・工事請負費		120,967千円							
	○各種手数料		228千円							
	・ごみ持込処理、施設設備撤去、ガス配管置換									
	○各種委託料		3,692千円							
	・浄化槽清掃									
					成果・課題	令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターを除却することができた。				

予算科目目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	9,520千円		9,520千円	0千円	100.0 %		
	目	04 学校給食費					(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	05 学校給食センター施設整備事業（繰越）					9,520千円		
まちづくり 27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実		主な財源	市債 学校給食センター整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債） 8,500千円					
目的	令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。								
主要な事務・事業の概要	○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事		9,520千円						
	・工事監理委託料		420千円						
	・工事請負費		9,100千円						
					成果・課題	令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターを除却することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	183千円		206千円	23千円	88.8 %			
	目	04 学校給食費					(参考)当初予算額	課	学校教育課	
	事業	50 学校給食一般経費					434千円			
まちづくり 27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実	主な財源							
目的	学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、献立研究会の活発な活動を促し、衛生管理や栄養面等での充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	衛生管理の徹底 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに衛生対策管理の消耗品を購入した。									
	○需用費 ・消耗品費（衛生消耗品）									130千円
	○手数料 ・調理員等検便検査 ・給食用食材細菌検査									39千円 32千円 7千円
	○栄養士会負担金 ・京都府栄養士会負担金		14千円	成果・課題	○学校給食全般における衛生管理の徹底及び給食献立の研究を進めることで、衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査の充実を図り、より安全・安心な学校給食を実施していく必要がある。					

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	建設部										
	項	04 都市計画費	128,324千円		249,098千円	120,774千円	51.5 %												
	目	03 都市公園費					(参考)当初予算額	253,236千円											
	事業	01 都市公園等維持整備事業【再掲】																	
まちづくり 27の施策		09 快適な都市空間の形成	主な財源	市債	過疎地域持続的発展特別事業債			30,200千円											
				市債	都市公園整備事業債（過疎債）			60,800千円											
目的	都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。																		
主要な事務・事業の概要	○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費		32,182千円		【所管：都市計画・建築住宅課】														
	【所管：都市計画・建築住宅課】				・用地賃借料（借上面積：1,995㎡）202千円														
	・指定管理委託料		17,600千円		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		128,462千円											
	NPO法人網野スポーツクラブ（令和7年度～令和11年度）					実質的な予算執行率		99.9%											
	・海浜地区西側トイレ下水道接続工事				■令和8年度への繰越事業120,636千円														
	工事請負費、監理委託		13,799千円		・峰山途中ケ丘公園東側駐車場整備 令和8年12月完了予定														
	その他（汚泥引抜、下水道加入分担金）		783千円		（参考）都市公園利用状況（令和7年度）														
					<table><tr><th>施設名</th><th>利用者数</th></tr><tr><td>八丁浜シーサイドパーク</td><td>37,689人</td></tr><tr><td>八丁浜有料駐車場</td><td>7,792台</td></tr><tr><td>峰山途中ケ丘公園</td><td>25,092人</td></tr><tr><td>峰山総合公園</td><td>25,366人</td></tr></table>					施設名	利用者数	八丁浜シーサイドパーク	37,689人	八丁浜有料駐車場	7,792台	峰山途中ケ丘公園	25,092人	峰山総合公園	25,366人
	施設名	利用者数																	
	八丁浜シーサイドパーク	37,689人																	
八丁浜有料駐車場	7,792台																		
峰山途中ケ丘公園	25,092人																		
峰山総合公園	25,366人																		
○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費		96,142千円		成果・課題	○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。 ○トイレ下水道接続や、遊具修繕などを実施し、利用者の安全性や利便性を確保した。 ○はごろも陸上競技場の第三種公認及びグランドゴルフコース認定の更新を受け、公式競技活動等に対応できる環境を確保した。 ○峰山途中ケ丘公園の駐車場整備工事に着手し、駐車場の拡充を進めた。														
【所管：生涯学習課（スポーツ推進室）】																			
・指定管理委託料		45,005千円																	
（公財）京丹後市公園緑化事業団（令和3年度～令和7年度）																			
・修繕（峰山途中ケ丘公園：器具庫、総合公園：通用口ドア）		1,092千円																	
・施設維持工事（峰山途中ケ丘公園木製遊具 ほか）		2,694千円																	
・公認検定経費（検定補助業務、宿泊費）		685千円																	
・峰山途中ケ丘公園東側駐車場整備																			
工事請負費（前払い金）		46,440千円																	
土地補償費		24千円																	